D00975205C

TASCAM
TEAC PROFESSIONAL

DV-D01U

DVD PLAYER

取扱説明書





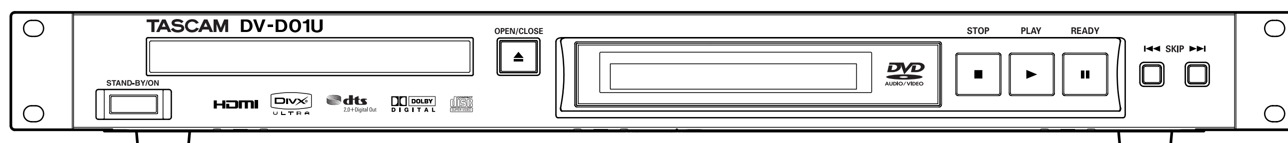








HDMI MPEG-4 ASF PLAYBACK *Digital Direct Progressive Scan*



安全にお使いいただくために

この取扱説明書への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな絵表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

表示の意味

⚠警告	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

絵表示の例

⚠	△記号は注意（警告を含む）を促す内容があることを告げるものです。
	⃠記号は禁止の行為であることを告げるものです。 図の中に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	●記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。 図の中に具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜け）が描かれています。

⚠警告



万一、煙が出ている、変なにおいや音がするなどの異常状態のまま使用すると、火災・感電の原因となります。すぐに機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。煙が出なくなるのを確認して販売店またはティアック修理センターに修理をご依頼ください。



万一、機器の内部に異物や水などが入った場合は、まず機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源コードが傷んだら（芯線の露出、断線など）販売店またはティアック修理センターに交換をご依頼ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



船舶などの直流（DC）電源には接続しないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の通風孔をふさがないでください。通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となります。



この機器の通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどを差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災・感電の原因となります。



この機器の上に花びんや水などの入った容器や小さな金属物を置かないでください。こぼれたり、中に入った場合火災・感電の原因となります。



電源コードの上に重いものをのせたり、コードが本機の下敷にならないようにしてください。コードに傷がついて、火災・感電の原因となります。



電源コードを傷つけたり、加工したり、無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因となります。



この機器のカバーは絶対に外さないでください。感電の原因となります。内部の点検・修理は販売店またはティアック修理センターにご依頼ください。



この機器を改造しないでください。火災・感電の原因となります。

⚠警告



万一、この機器を落としたり、キャビネットを破損した場合は、機器本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて、販売店またはティアック修理センターにご連絡ください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



電源プラグの刃および刃の付近にほこりや金属物が付着している場合は、電源プラグを抜いてから乾いた布で取り除いてください。そのまま使用すると火災・感電の原因となります。



この機器を設置する場合は、壁から20 cm以上の間隔をおいてください。また、放熱をよくするために、他の機器との間は少し離して置いてください。ラックなどに入れるときは、機器の天面から1U以上、背面から10 cm以上のすきまをあけてください。内部に熱がこもり、火災の原因となります。

⚠注意



オーディオ機器、スピーカー等の機器を接続する場合は、各々の機器の取扱説明書をよく読み、電源を切り、説明に従って接続してください。また接続は指定のコードを使用してください。



電源を入れる前には音量を最小にしてください。突然大きな音が出て聴力障害などの原因となることがあります。



ディスクトレイが閉まるときに手指をはさまれないようにご注意ください。けがの原因となることがあります。



５年に一度くらいは機器内部の掃除を販売店またはティアック修理センターにご相談ください。内部にほこりがたまったまま、長い間掃除をしないと火災や故障の原因となることがあります。特に、湿気の多くなる梅雨期の前に行なうと、より効果的です。なお、掃除費用についてはご相談ください。



次のような場所に置かないでください。火災、感電やけがの原因となることがあります。
・調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
・湿気やほこりの多い場所
・ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所



電源コードを熱器具に近付けないでください。コードの被ふくが溶けて、火災・感電の原因となることがあります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



電源プラグを抜くときは、電源コードを引っ張らないでください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。必ずプラグを持って抜いてください。



この機器はコンセントの近くに設置し、電源プラグに容易に手が届くようにしてください。



移動させる場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、機器間の接続コードなど外部の接続コードを外してから行なってください。コードが傷つき、火災・感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間、この機器をご使用にならないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。



お手入れの際は安全のため電源プラグをコンセントから抜いて行なってください



この機器には、付属の電源コードセットをご使用下さい。それ以外の物を使用すると故障、火災、感電の原因となります。



付属の電源コードセットを他の機器に使用しないでください。故障、火災、感電の原因となります。

もくじ

第 1 章　はじめに

取り扱い上の注意

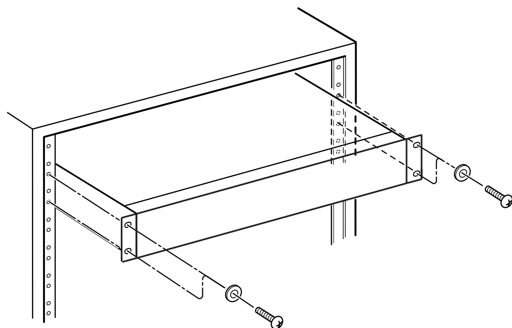
重要

製品の設置場所

- 水平なところに設置してください。また湿気のあるところや極度の高温（35 度以上）や低温（5 度以下）の場所は避けてください。
- 本機とテレビの間には充分な距離をとってください。
- 本機に振動を与えるおそれのある場所への設置は避けてください。

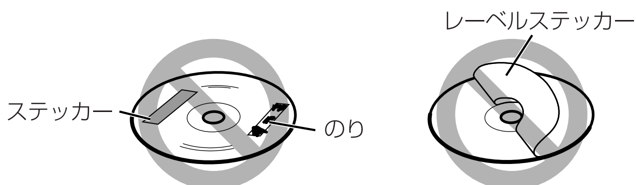
ラックマウントについて

- ラックにマウントする場合は、付属のラックマウント用ビスを使って下図のように、取り付けて下さい。
  なお、本機の上に 1 U 以上のスペースを、後ろに 10 cm 以上のスペースを空けて下さい。



故障を避けるために

- 本機の内部にはユーザーご自身による修理可能部品はありません。不具合が生じた場合は電源コードをはずして販売店またはTEAC 修理センターに相談してください。
- 変則的な形状（ハート型、花型、クレジットカード型など）のディスクは使用しないでください。本機を損傷するおそれがあります。
- 粘着テープ、ステッカー、のりなどの着いたディスクは使用しないでください。本機を損傷するおそれがあります。



著作権についてのご注意

- ディスクからコピーを取る場合は著作権法を確認してください。著作権法によって保護されているディスクの内容をコピーすると違法行為となります。

コピー防止機能

- ディスクはコピー防止機能によって保護されています。本機を直接ビデオデッキに接続すると、コピー防止機能が作動してコピーした画像は正しく再生されません。

キャビネットの手入れ

本機に汚れが着いた場合は、やわらかい布でふき取ってください。化学雑巾を使用する場合はその注意書きをよくお読みください。ベンジンやシンナーあるいは消毒液などの有機溶剤は使用しないでください。キャビネットの変形や脱色を引き起こす可能性があります。

水が入ったときは

電源を切り、コンセントから電源コードを引き抜いてから、お買い求めの販売店または TEAC 修理センターに相談してください。
水が内部に入ったまま本機を使用し続けると火災や感電の危険があります。

付属品

付属品がすべてそろっているか確認してください。
もし不足しているものがあればすぐに販売店に連絡してください。

- リモコン　x 1
- 電池　x 2
- 音声/映像ケーブル（黄・白・赤）　x 1
- 電源コード　x 1
- 取扱説明書（和文）　x 1

ご注意

本製品には海外仕様の電源コード、取扱説明書（英文）も同梱されています。日本向けの電源コードはプラグの刃が平形形状のコードになりますので、電源コードを接続する際にはお間違いのない様ご注意願います。

アフターサービス

・ この製品には保証書を別途添付しております。保証書は販売店より所定事項を記入してお渡ししておりますので、記載内容をご確認の上、取扱説明書などと一緒に大切に保管してください。

・ 保証期間はお買い上げ日より 1 年です。保証期間中は記載内容により当社サービス機関が修理いたします。その他の詳細につきましては保証書をご参照ください。

・ 保証期間経過後、または保証書を提示されない場合の修理などについては、お買い上げの販売店または当社営業所などにご相談ください。修理によって機能を維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理いたします。

・ 万一、故障が発生し修理を依頼される場合は、次の事項を確認の上ご連絡ください。
  ·型名、型番（DV-D01U）
  ·製造番号（Serial No.）
  ·故障の症状（できるだけ詳しく）
  ·お買い上げ年月日
  ·お買い上げ販売店名

再生可能なディスクの種類

本機では以下のディスクを再生することができます。

DVD VIDEO	DVD AUDIO（2チャンネルのみ）
VCD	SVCD
Audio CD	

下のリストの✓マークは利用可能なディスクの種類と録画フォーマットを示しています。

Disc type / Recording format	CD-R/-RW*1	DVD-R*1	DVD-RW*1
DVD Video	–	✓	✓
DVD VR	–	✓	✓
DVD Audio	–	✓	✓
VCD/SV CD	✓	–	–
Audio CD	✓	–	–
MP3	✓	✓*2	✓*2
WMA	✓	✓*2	✓*2
WAV	✓	✓*2	✓*2
JPEG	✓*3	✓*2	✓*2
ASF	✓	✓*2	✓*2
MPEG-2	✓*3	✓*2	✓*2
MPEG-1	✓*3	✓*2	✓*2
DivX	✓	✓*2	✓*2

*1　本機で再生できるのはファイナライズ済みのディスクに限られます。
*2　「UDF ブリッジ」フォーマット録画
*3　サイズの大きすぎるファイルは再生できない場合があります。

- ファイナライズ済みの+R/+RW(DVD ビデオフォーマットのみ)ディスクを再生することができます。+R/+RW ディスクを装着すると画面に「DVD」表示が点灯します。
- 一般の CD プレーヤーで再生できるスーパーオーディオ CD（SACD）は本機でも再生することができます。
- 本機は NTSC 方式に対応していますが PAL 方式で記録されたディスクの再生も可能です。この場合、ディスク上の PAL 映像信号は NTSC 信号に変換されて出力されます。
- DualDisc の非 DVD 面はコンパクト・ディスク・デジタル・オーディオ規格に準拠していません。したがって DualDisc の非 DVD 面を本機で使用することは推奨できません。
- DVD ビデオ、VCD、SVCD の各ディスクのなかには、この取扱説明書の記載とは異なる動作をするものがあるかも知れません。これはディスクのプログラミングと構造に起因するものであって本機の故障ではありません。

DVD-R と DVD-RW についてのご注意

- 本機はマルチボーダーディスクをサポートしていません。
- 本機は DVD-R/-RW の２層式で記録されたディスクをサポートしていません。

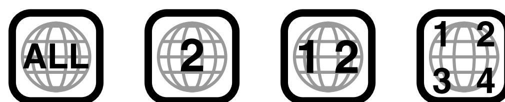
CD-R と CD-RW についてのご注意

- 本機は ISO9660 フォーマットで記録された CD-R あるいは CD-RW をサポートしていません。
- 本機はマルチセッション（最大 12 セッション）ディスクをサポートしています。
- 本機ではパケットライトディスクの再生が可能です。

DVD ビデオの地域コード

- DVD ビデオプレイヤーと DVD ビデオディスクには地域コード番号が設定されています。
- 本機に設定されている地域コード（リアパネルに表示）に合致する地域コード番号が設定されているディスクを再生することができます。

再生可能 DVD の例：



本機に合致しない地域コードが設定されているディスクを装着すると、テレビ画面に「REGION CODE ERROR!」が表示されて再生はスタートしません。

ディスク特性や録画状況あるいはディスクの損傷やよごれなどによっては再生できない場合があります。

再生不可能なディスク

DVD-ROM、DVD-RAM、CD-I（CD-I 対応仕様）、Photo CD などは再生できません。これらのディスクを再生しようとすると雑音が出てスピーカーを損傷する可能性があります。

再生可能なファイルの種類

再生可能なファイルのすべて

本機は以下の拡張子（大文字小文字無関係）を持つファイルを認識して再生することができます。

MP3:“.MP3”、“.mp3”
WMA:“.WMA”、“.wma”
WAV: “.WAV”、“.wav”
JPEG: “.JPG”、“.JPEG”、“.jpg”、“.jpeg”
ASF: “.ASF”、“.asf ”
MPEG-2/MPEG-1:“.MPG”、“.MPEG”、“.mpg”、“.mpeg”
DivX:“.DIVX”、“.DIV”、“.divx”、“.div” と “.AVI”、“.avi”

- 本機は1グループ150トラック（ファイル）まで、一枚のディスクで99グループまで認識し、再生できるトラック（ファイル）の総数は4000に達します。
- ディスク特性や録画状況によっては正常に再生できないファイルの存在する可能性があります。
- MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXの各ファイルは読み出しに時間がかかります。（ディレクトリーの複雑さ加減やファイル構成によって要する時間は異なります。）
- 異なる種類のファイルが混在している場合は「PICTURE」メニューの「FILE TYPE」を読み出すデータに合わせてAUDIO、STILL PICTURE、VIDEOのいずれかに設定してください（30ページ参照）。

MP3/WMA/WAVファイルについて

- 本機は、32～320kbpsのビットレートと16Hz、22.05kHz、23kHz*、32kHz、44.1kHz、48kHzのいずれかのサンプリング周波数で作成されたMP3/WMA/WAVファイルをサポートしています。
- トラック情報（タイトル、アーチスト名、アルバム名など）が記録されている場合は、テレビ画面のファイル管理画面に表示されます（22ページ参照）。
- 素材（曲）の録音には、サンプリング周波数44.1 kHz、データ転送速度128 (96*) kbpsを推奨します。

  * WMAのみ

JPEGファイルについて

- 解像度640 x 480で記録することを推奨します。（これより高い解像度で記録されたファイルは表示に時間がかかります。）
- 本機ではベースライン方式のJPEGファイルのみ再生することができます。

ASFファイルについて

- 本機はASF形式のMPEG-4ファイルをサポートしています。
- 本機は下記の条件を満たすMPEG-4ファイルをサポートしています。

  ファイル形式： ASF
  ビジュアルプロファイル：MPEG-4 SP（シンプルプロファイル）
  オーディオCODEC ： G.726
  最大画像サイズ： 352 x 288 (CIF)
  最大ビットレート：384 kbps

MPEG-2/MPEG-1ファイルについて

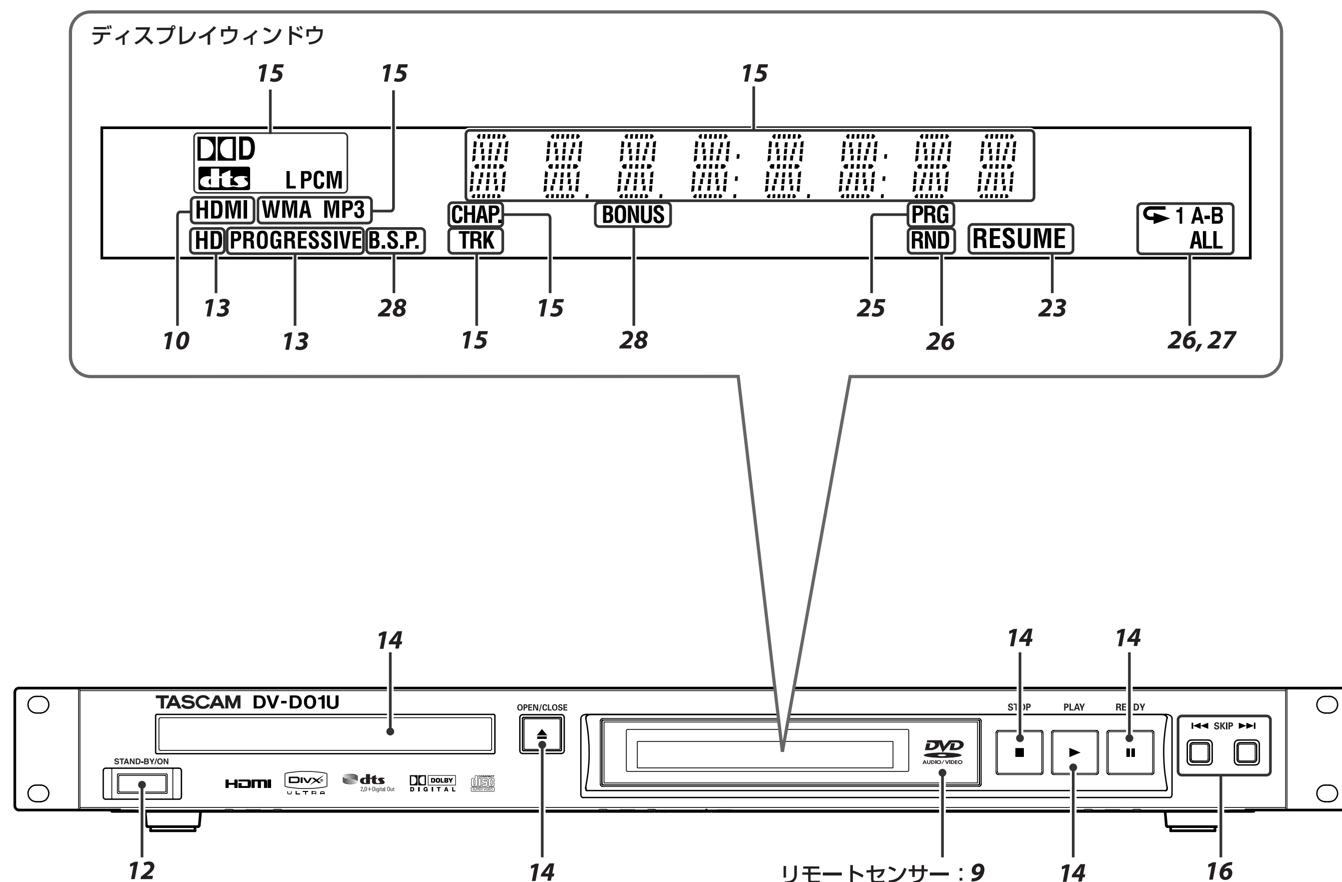
- ストリーム形式はMPEGユニット/プログラムストリームに準拠している必要があります。
- 最良の解像度を得るには720 x 576ピクセル（25 fps）もしくは720 x 480ピクセル（30 fps）を推奨します。
- 本機は352 x 576/480 x 576/352 x 288ピクセル（25 fps）および352 x 480/480 x 480/352 x 240ピクセル（30 fps）もサポートしています。
- ファイル形式はMP@ML/SP@ML/MP@LLである必要があります。
- オーディオストリームはMPEG1 Audio Layer-2もしくはMPEG2 Audio Layer-2に準拠している必要があります。

DivXファイルについて

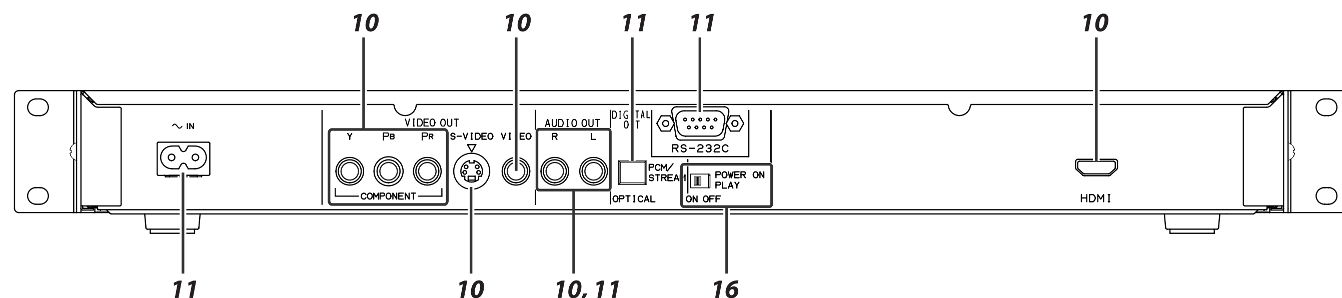
- 本機はDivX 6.x、5.x、4.xおよび 3.11をサポートしています。
- 本機は解像度720 x 480ピクセル以下（30 fps）と720 x 576ピクセル以下（25 fps）のDivXファイルをサポートしています。
- オーディオストリームはDolby Digital （マルチチャンネルを含む）もしくはMPEG Audio Layer-3 (MP3)に準拠している必要があります。
- 本機はGMC (Global Motion Compression)をサポートしていません。
- インターレーススキャンモードでエンコードしたファイルは正常に再生できないおそれがあります。
- 本機にはDivX再生のための登録コードが設定されています。
- お客様の製品の登録コードは「OTHERS」メニューで確認することができます（31ページ参照）。

フロントパネル

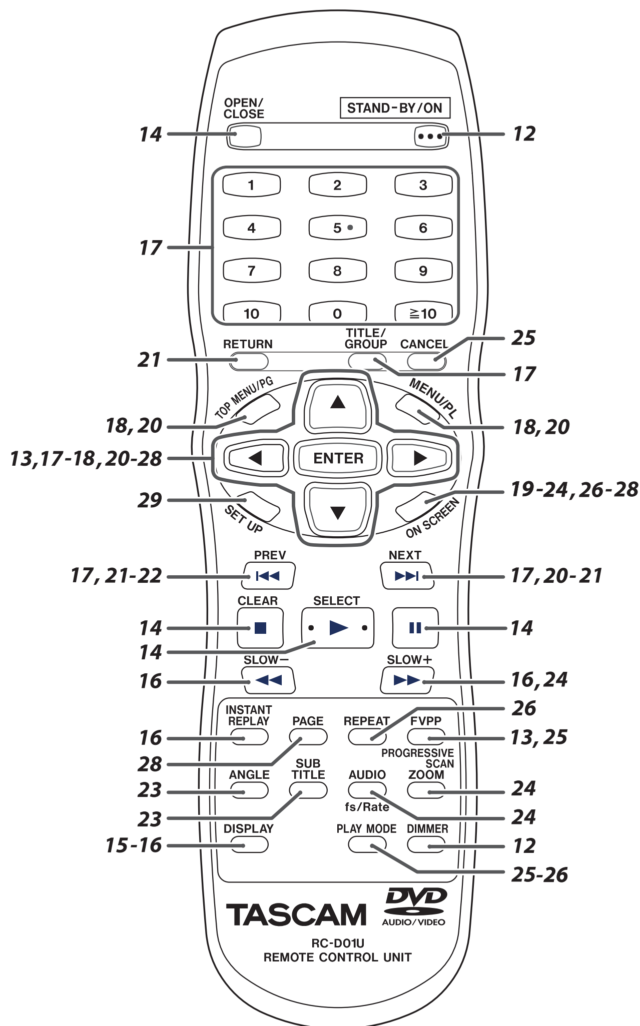
図中の数字は、詳細を記述してあるページ数を示しています。



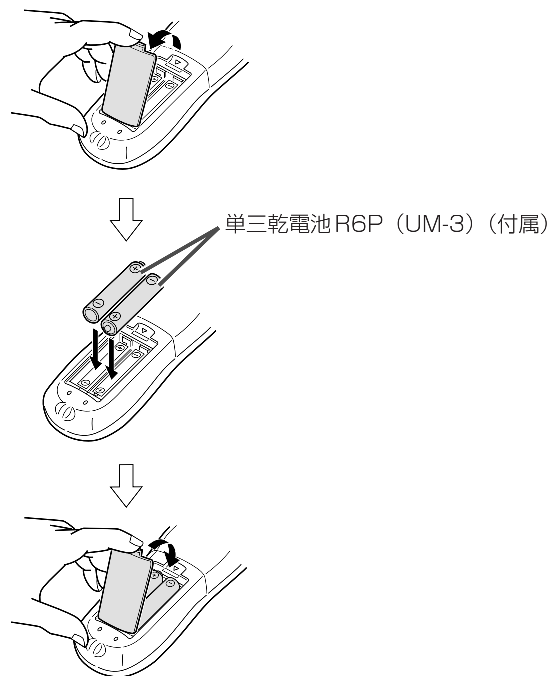
リアパネル



リモートコントロール



リモコンへの電池の入れ方



リモコン操作がしにくくなったら電池の交換時期です。

警告

- 電池を火の中に投入したり加熱しないで下さい。

リモコンによる操作

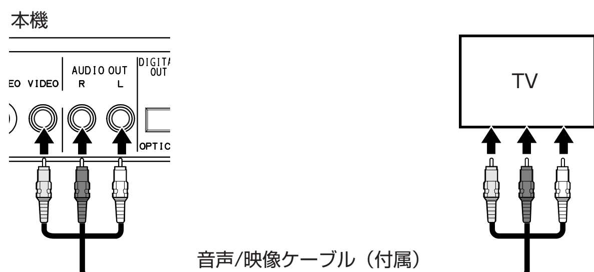
リモコンをまっすぐ本体のフロントパネルへ向けてください。

- リモートセンサーの前に障害物を置かないでください。

テレビの接続

- ビデオデッキを経由してテレビに接続したりビデオデッキ内蔵のテレビに接続すると画像が歪むことがあります。
- 「PICTURE」メニューの「MONITOR TYPE」をご使用のテレビのアスペクト比（縦横比）に合わせて設定しておく必要があります（30ページ参照）。

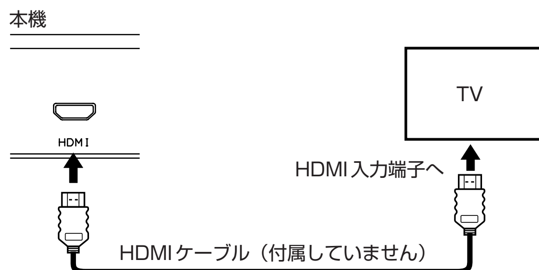
■ 一般的なテレビへの接続



■ HDMI端子を備えたテレビへの接続

HDMI端子を備えて高品位デジタルビデオ信号に対応しているテレビに接続することによって高品質の画像を見ることができます。

ビデオ信号の種類は480p、1080i、720pのなかから選ぶことができます（13ページ参照）。



ご注意

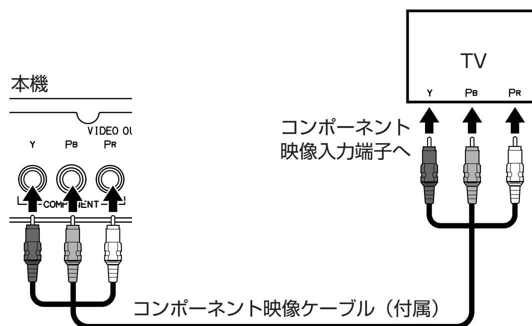
- 本機はHDMI端子からリニアPCM 48 kHz、44.1 kHz、32 kHzのいずれかの音声信号を出力します。「AUDIO」メニューの「DIGITAL AUDIO OUTPUT」を「PCM ONLY」に設定してください（30ページ参照）。
- 本機とテレビが相互に認識しあって信号の送受信が可能な状態になるとディスプレイウィンドウにHDMIインジケータが点灯します。
- HDCPコンテンツを再生する場合、最初の数秒間は確認動作のため、音声と画像がスピーカーとテレビに送信されないことがあります。

DVD AUDIO について

- 本機は、HDMI出力を含めて、DVD AUDIO は 2ch のみに対応しています。
- ダウンミックスが許可されたトラックは、L, R 2ch にて出力します。
- 接続機器のHDMI入力がDVD AUDIO に対応していない場合は、HDMI出力をミュートします。

■ コンポーネント映像入力端子を備えたテレビへの接続

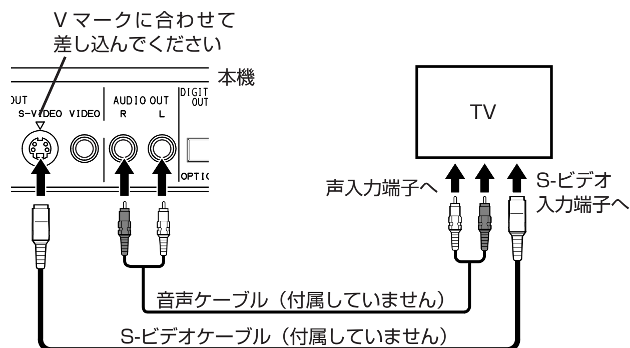
- アナログ映像接続では、画質は次の順でよくなります。
  コンポーネントビデオ ＞ S-ビデオ ＞ コンポジットビデオ
- ご使用のテレビがプログレッシブ映像入力端子を備えていれば、プログレッシブスキャンモードをオンにすることによって美しい画像を楽しむことができます（13ページ参照）。



ご注意

- DivX/ASFファイルの再生中は本機のコンポーネント映像端子からはプログレッシブ信号しか出力されません。ご使用のテレビがプログレッシブ映像入力端子を備えていない場合は、S-ビデオ端子かコンポジットビデオ端子に接続してください。
- ご使用のテレビのコンポーネント映像入力端子がBNCタイプであれば、プラグアダプター（付属していません）を使ってピンプラグをBNCプラグに変換してください。

■ S-ビデオ端子を備えたテレビへの接続

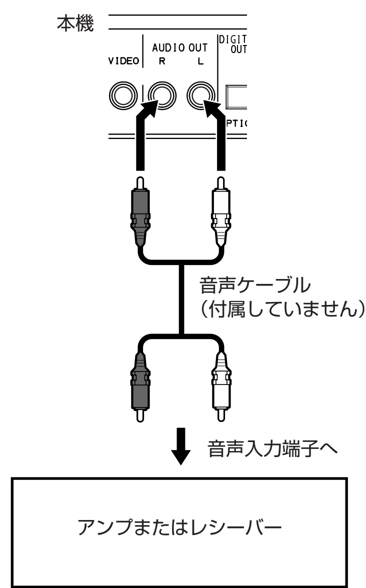


HDMIとは？

High Definition Multimedia Interfaceの略で、次世代テレビの標準インターフェイスです。本機とテレビをHDMIケーブルを使って接続することにより、デジタル映像信号と音声信号とがそのケーブルを通して送信されます。AD/DAコンバーターを使うことなく、簡単にデジタルの映像と音声を視聴することができます。
さらに本機はHDCP (High-Bandwidth Digital Content Protection)に対応しているため、HDCP対応のテレビを本機に接続すればHDCPコンテンツを見ることができます。

ステレオアンプ/レシーバーへの接続

本機の音声出力をアンプあるいはレシーバーへ接続することによって高品質の音声を楽しむことができます。

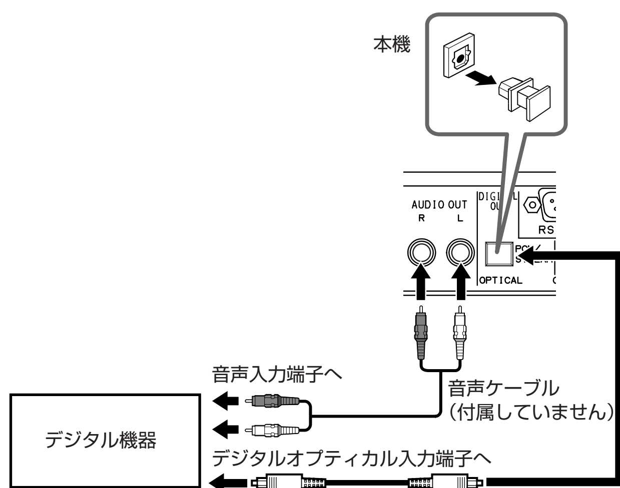


ご注意

- 本機をアンプまたはレシーバーと組み合わせて使用する場合は、「AUDIO」メニューの「DOWN MIX」を「STEREO」に設定してください（31ページ参照）。

デジタル機器への接続

別売のデジタルケーブルを使って本機のDIGITAL OUT (OPTICAL)信号をアンプのデジタル入力端子に接続することによってより高品質な音声を楽しむことができます。別売のデジタルケーブルを使って本機をDolby Digital、DTSあるいはMPEGマルチチャンネルデコーダーに、あるいはデコーダー内蔵のアンプに接続すれば、高品質なサラウンドサウンドを楽しむことができます。デジタル接続では、ディスクの種類によってはデジタル出力端子から音声信号が出力されません。同時にアナログ接続も利用されることをお奨めします。

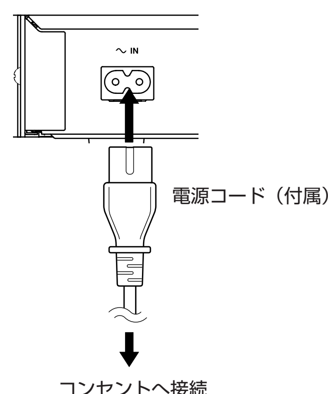


ご注意

- 本機のDIGITAL OUT (OPTICAL)をデジタルオーディオ機器に接続した場合は、あらかじめ「AUDIO」メニューの「DIGITAL AUDIO OUTPUT」を接続オーディオ機器に合わせて正しく設定してから操作してください。「DIGITAL AUDIO OUTPUT」が正しく設定されていないと、スピーカーから大きな音が出てスピーカーを壊す原因となります。30ページの「DIGITAL AUDIO OUTPUT」を参照してください。
- 本機をテレビへHDMI接続し、DIGITAL OUT (OPTICAL)をアンプに接続した場合は、「AUDIO」メニューの 「DIGITAL AUDIO OUTPUT」を「PCM ONLY」に設定してください。こうすることによってテレビからの音声を聴くことができます。アンプからの音声を聴くには「DIGITAL AUDIO OUTPUT」を「STREAM/PCM」に設定してください（30ページ参照）。
- 本機のDIGITAL OUT (OPTICAL)をDolby DigitalあるいはDTSデコーダー（あるいはデコーダー内蔵のアンプ）に接続してサラウンドサウンドを楽しむ場合、「AUDIO」メニューの「D.RANGE COMPRESSION」設定は無効となります。デコーダー側でサラウンド音声設定を行ってください。

電源コードの接続

ほかのすべての接続が終了していることを確認してください。



警告

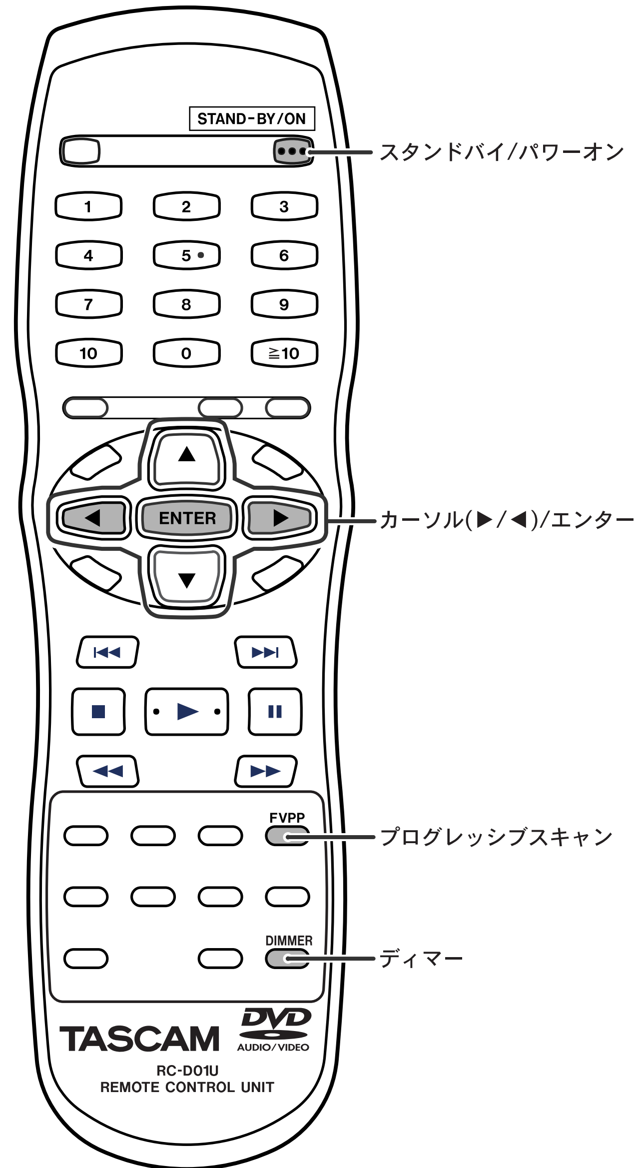
- 本本機をクリーニングあるいは移動するときは、あらかじめ電源コードを抜いてください。
- 電源コードを抜くときはコード自体を引っ張らないでください。コードを傷めないように必ずプラグを引っ張ってください。

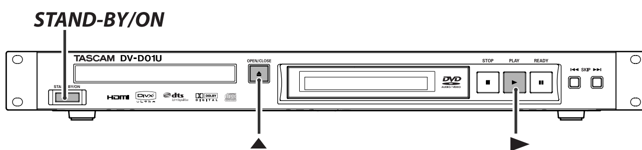
RS-232C コネクター

適当な機能を搭載した外部機器を接続すれことにより、RS-232Cプロトコルによる本機の遠隔操作が可能となります（32ページ参照）。

この取扱説明書ではほとんどの操作をリモコンのボタンを使って説明していますが、本機自体のボタンも、別段の記載がない限り、リモコンのボタンと同じように使うことができます。

以下のボタンは 12～13ページで使われます。





本機の電源を入れる/切る

STAND-BY/ON ボタンを押す。

以下のメッセージがテレビ画面に表示されます。



- 「OPEN/CLOSE」
  ディスクトレーを開け閉めすると表示されます。
- 「NOW READING」
  ディスクあるいはファイル情報を読み込み中に表示されます。
- 「REGION CODE ERROR!」
  DVD ビデオの地域コードが、本機がサポートしているコードに合致ないときに表示されます。このディスクは再生できません。
- 「NO DISC」
  ディスクが装着されていないときに表示されます。
- 「CANNOT PLAY THIS DISC」
  再生不可能なディスクを装着すると表示されます。

ご注意

- 本電源を切っても少量の電気が消費されます。電源を完全に切るには、電源コードをコンセントから抜いてください。
- 以下のボタンを押しても本機の電源を入れることができます
  - 本機の ▲ ボタンあるいはリモコンの OPEN/CLOSE ボタン。
  - 本機あるいはリモコンの ▶ ボタン
- テレビをHDMI 端子を通して接続した場合は、先にテレビの電源を入れてから本機の電源を入れてください。逆にするとテレビによっては以下のような現象が起きる可能性があります。
  - スキャンモード設定（13ページ参照）が変わってしまう。
  - 「AUDIO」メニューの「HDMI AUDIO OUT」を「OFF」に設定してあっても（31 ページ参照）テレビのスピーカーから音声が出てしまう。

  上記のような現象が起きた場合は、本機の電源を一度切ってから再び電源を入れ直したのち、スキャンモードの設定をしなおしてください。

表示の輝度を調整する

DIMMER ボタンを押す。

ボタンを繰り返し押すことによって表示の輝度を 3 段階に調整することができます。

スキャンモードを切り替える

本機はご使用のテレビのスキャンモードに対応させることができます。

ご注意

- 本機をプログレッシブモードで使用するには、HDMIケーブルあるいはコンポーネントビデオケーブル（付属）を使って本機をテレビに接続する必要があります（10ページ参照）。

■ DVDの停止中に

1. PROGRESSIVE SCANボタンを２秒間押し続ける。

現在選択されているスキャンモードがディスプレイウィンドウに表示されます。

2. カーソルボタン（▶/◀）を押してスキャンモードを選択する。

ボタンを押すごとにスキャンモードは以下のように切り替わります。

■ コンポーネントビデオケーブルを使ってテレビを接続している場合

NT480i ⟷ NT480p ⟷ PAL576i ⟷ PAL576p

■ HDMIケーブルを使ってテレビを接続している場合

AUTO ⟷ NT480p* ⟷ NT720p* ⟷ NT1080i* ⟷
PAL576p* ⟷ PAL720p* ⟷ PAL1080i* ⟷ (頭に戻る)

- 「AUTO」に設定すると、本機はテレビ側の高品位映像信号対応能力次第で最良の映像信号を出力します。
- 「AUTO」、「1080i」、「720p」のいずれかに設定すると、本機のアップコンバート機能により、SD信号を1080i/720p信号へ変換します。
- 「1080i」あるいは「720p」に設定すると、「HD」インジケーターがディスプレイウィンドウに点灯します。
- 1080i または 720p 選択時、本機背面の出力端子から下記の信号を出力します。
  コンポーネントビデオ端子：NTSC 480p, PAL 576p
  Ｓビデオ端子、ビデオ端子：NTSC 480i, PAL 576i

- 480、480p、576i、576p、720p、1080i は、映像信号の走査線の数と走査形式を示しています。
  - 480i/576i/1080iは、インターレース方式の走査線の数を表します。
  - 480p/576p/720pは、プログレッシブ方式の走査線の数を表します。
- 一般的には、走査線の数が大きいほうがより良好な映像が得られます。
- インターレース方式よりプログレッシブ方式のほうがより良好な映像が得られます。

3. 希望するスキャンモードを表示させたらENTERボタンを押す。

プログレッシブスキャンモードを選択した場合は「PROGRESSIVE」インジケーターがディスプレイウィンドウに点灯します。

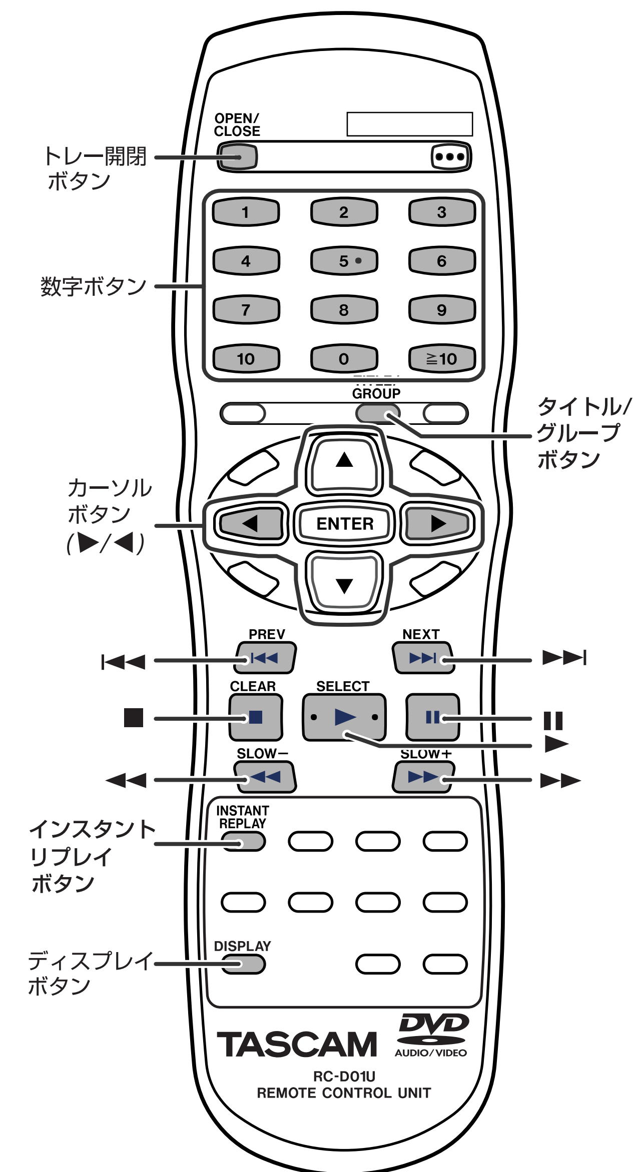
ご注意

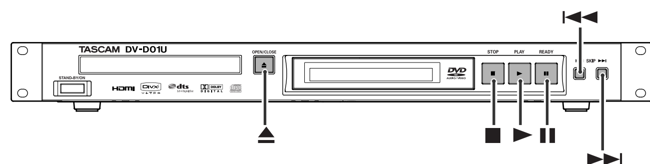
- 「1080i」モードにすると映像が縦方向に圧縮されます。
- ビデオケーブルあるいはS-ビデオケーブルでテレビを接続している場合は、スキャンモードを切り替えても無効です。
- ENTERボタンを押したときに映像が乱れる場合がありますが、これは本機の故障ではありません。

- プログレッシブテレビと高品位テレビのなかには、本機との適合性が完全ではないものがあり、DVD VIDEOをプログレッシブスキャンモードで再生すると不自然な映像になる場合があります。このような場合は、スキャンモードをインターレースモードに切り替えてください。

● DVD VIDEO などのアイコンは利用可能なディスク形式やファイルの種類を示しています。

以下のボタンは14～18ページで使われます。





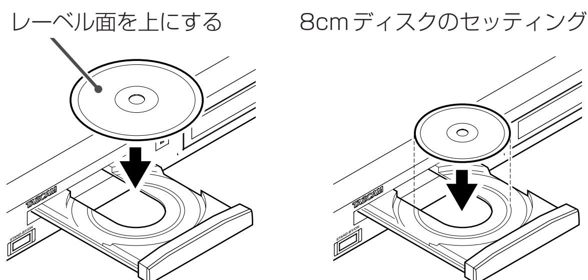
基本的な再生操作

DVD VIDEO | DVD VR | DVD AUDIO | VCD | SVCD | CD | MP3 WMA | WAV | JPEG | ASF | MPEG 2/1 | DivX

■ ディスクの再生

1. 本機の ⏏ ボタンあるいはリモコンのOPEN/CLOSEボタンを押す。
   - 本機の電源が入ってディスクトレーが出てきます。

2. ディスクをセットします。



3. 本機あるいはリモコンの再生ボタン（▶）を押す。

■ 以下のファイルを再生する場合

- MP3/WMA/WAVファイル
  テレビ画面にファイル管理画面（22ページ参照）が表示されます。
- JPEGファイル
  各ファイル（静止画像）が約3秒間ずつテレビ画面に表示されます（スライドショー）。再生をストップすると、ファイル管理画面（22ページ参照）がテレビ画面に表示されます。
- ASF/MPEG-2/MPEG-1ファイル
  再生をストップすると、ファイル管理画面（22ページ参照）がテレビ画面に表示されます。
- DivXファイル
  データの読み取り中、「Reading Index...」がテレビ画面に表示される場合があります。再生をストップすると、ファイル管理画面（22ページ参照）がテレビ画面に表示されます。

ご注意

- 数種類のファイルが一枚のディスクに収録されている場合は、セットアップメニューで適切なファイル種類を選択してください（30ページ参照）。
- （JPEGファイルの場合）テレビ画面に画像全体が表示されるまでの間、本機のすべてのボタンは無効になります。

■ 再生を一時停止するには

II ボタンを押す。

再生を再開するには ▶（再生）ボタンを押してください。

■ 再生を停止するには

■ ボタンを押す。

■ オンスクリーンガイドアイコン

DVD VIDEOの再生中、テレビ画面に以下のガイドアイコンが一時的に表示されます。

- ● : 複数言語の字幕が用意されている映像の冒頭に表示されます。
- ● : 複数の音声言語が用意されている映像の冒頭に表示されます。
- ● : 複数のカメラアングルが用意されている映像の冒頭に表示されます。
- ● : (再生)、 一時停止)、 / （早送り/巻き戻し）、 / （スロー送り/スロー戻し）：それぞれの操作を行ったときに表示されます。
- ● : セットしてあるディスクでは利用できない操作を行おうとすると表示されます。

ご注意

- オンスクリーンガイドアイコンを表示させたくない場合は31ページを参照してください。

■ ディスプレイウィンドウへディスク情報を表示させる

DVD VIDEOディスク

例：Dolby Digital 5.1 チャンネルにエンコードされたDVD VIDEOを再生したとき

DVD VRディスク

例：「ORIGINAL PROGRAM」画面*[1]から再生をスタートさせた場合

例：「PLAY LIST」画面*[1]から再生をスタートさせた場合

*1 TOP MENU/PGボタンあるいはMENU/PLボタンを押すと再生モードが切り替わります（18ページ参照）。

DVD AUDIOディスク

例：DVD AUDIOディスクを再生した場合

VCD/SVCD/CD

例：CDを再生した場合

ご注意

- PBC機能付きのVCDやSVCDの再生時には、再生経過時間は表示されず、代わりに「PBC」が表示されます。

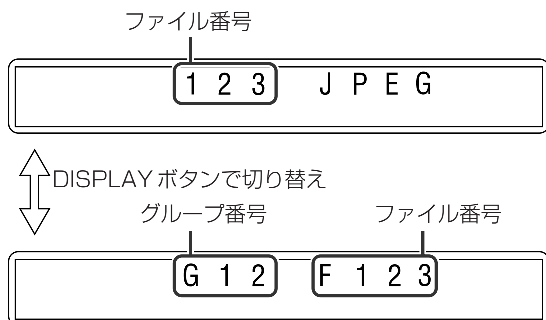
MP3/WMA/WAVファイル

例：MP3ファイルを再生した場合

* WMAファイルの再生時にはWMAインジケーターが点灯します。
* WAVインジケーターは用意されていません。

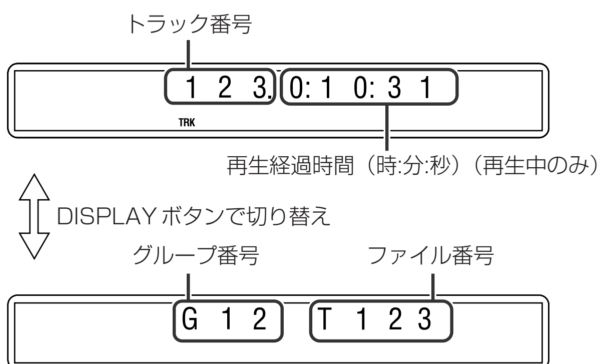
JPEGファイル

例：スライドショー再生時



ASF/MPEG-2/MPEG-1DivXファイル

例：ASFファイルを再生した場合



ご注意

- 時間情報の表示モードを変更することができます（MP3/WMA/WAV/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX再生時以外）（20ページ参照）。
- テレビ画面で再生情報をチェックすることもできます（20ページ参照）。

■ スクリーンセーバー

静止画像を長時間表示し続けるとテレビ画面に焼き付いてしまうおそれがあります。これを防ぐため、DVD、SVCD、VCD再生中に静止画面が5分以上表示され続けると、自動的に本機のスクリーンセーバー機能が働いて画面の輝度が下がります。

- 任意のボタンを押すとスクリーンセーバー機能はキャンセルされます。
- 本機のHDML端子から映像信号が出力されているときは、スクリーンセーバー機能は起動しません。
- スクリーンセーバー機能を使いたくない場合は30ページを参照してください。

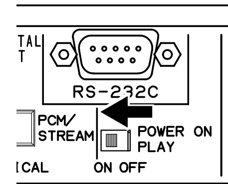
■ パワーオンプレイ

本機は、AC入力を検地すると自動的に電源を入れるパワーオンプレイ機能を装備しています。

ディスクを装着すると自動的に再生をスタートさせます。

この機能を利用するには、リアパネルにあるPOWER ON PLAYスイッチをONに設定します。

リアパネル



ご注意

- パワーオンプレイ機能をONにすると、ディスクのトップメニューは表示されません。
- パワーオンプレイ中はSTAND-BY/ONとOPEN/CLOSE以外の操作は受け付けません。
- ディスク交換後にSTAND-BY/ONボタンで電源を切った後、再投入するとパワーオンプレイを再開します。

ワンタッチリプレイ

再生位置を10秒ぶんバックさせることができます。

■ 再生中に

INSTANT REPLAYボタンを押す。

ご注意

- この機能は同一タイトル内でのみ有効です。
- ディスクによってはこの機能は機能しません。

早送り/巻き戻しサーチ

DVD VIDEO　DVD VR　DVD AUDIO　VCD　SVCD　CD　MP3 WMA　WAV　ASF　MPEG 2/1　DivX

■ 再生中に

リモコン上で

►► ボタンあるいは ◄◄ ボタンを押す。

ボタンを押すたびにサーチ速度が切り替わります。

通常の再生速度に戻すには

►（再生）ボタンを押します。

ご注意

- DVD VIDEO、DVD VR、VCD、SVCD、あるいはASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXの再生時に早送りサーチあるいは巻き戻しサーチをすると、その間音声が聞こえなくなります。
- CDあるいはMP3/WMA/WAVの再生時に早送りサーチあるいは巻き戻しサーチをすると、その間音声が断続的になります。
- ディスク/ファイルによってはこの機能は機能しないことがあります。
- MP3/WMA/WAVの場合
  - 早送り/巻き戻しサーチの速度は表示されません。
  - 早送り/巻き戻しサーチは同一トラック内でのみ有効です。

特定のトラックやチャプターの頭へスキップする

DVD VIDEO | DVD VR | DVD AUDIO | VCD | SVCD | CD | MP3 WMA | WAV | JPEG | ASF | MPEG 2/1 | DivX

■ ►►I/I◄◄ ボタンを使用

■ DVD VIDEO/DVD VR（チャプター）：再生中

■ VCD/SVCD（トラック）：PBC機能OFFでの再生中

■ DVD AUDIO/CD/MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX（トラック/タイトル）：再生中もしくは停止中

►►I ボタンあるいは I◄◄ ボタンを押す。

ご注意

- MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXファイルの再生中は、ファイル管理画面を見ながら操作することができます（22ページ参照）。
- ディスク/ファイルによってはこの機能は使えない場合があります。

■ リモコンの数字ボタンを使用

■ DVD VIDEO/DVD VR（タイトル、チャプター）：停止中はタイトルを選択。再生中はチャプターを選択。

■ DVD AUDIO（グループ、トラック）：停止中はグループを選択。再生中はトラックを選択。
TITLE/GROUPボタンを押してGroup表示を点滅させた状態からnumber buttonsを押すとGROUP選択になります。

■ VCD/SVCD（トラック）：PBC機能OFFでの再生中あるいは停止中。

■ CD/MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX（トラック/ファイル）：再生中あるいは停止中。

数字ボタン（0～10、≧10）を押して希望の番号を選ぶ。

数字ボタンの使い方の詳細は下の枠の中を参照してください。

数字ボタンの使い方

3を選択するには	：3を押します。
10を選択するには	：10を押します。
14を選択するには	：≧10、1、4の順に押します。
24を選択するには	：≧10、2、4の順に押します。
40を選択するには	：≧10、4、0の順に押します。
114を選択するには	：≧10、1、1、4の順に押します。

約5分間隔でスキップする

MPEG 2/1 | DivX

ファイル内を約5分間隔でスキップすることができます。長いファイルの内容をチェックするのに便利です。

■ 再生中

カーソルボタン（▶/◀）を押す。

ボタンを押すたびに再生位置が約5分ぶん前あるいは後ろにスキップします。

ご注意

- スキップする位置はファイルの頭を基点にして自動的に割り当てられます。
- この機能は同一ファイル内でのみ機能します。
- ディスク/ファイルによってはこの機能は使えない場合があります。

数字ボタンを使って特定のタイトル/グループを頭出しする

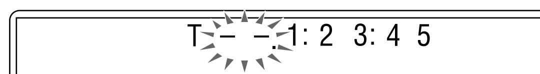
DVD VIDEO | DVD VR | DVD AUDIO | VCD | SVCD | CD | ASF | MPEG 2/1 | DivX

■ 再生中あるいは停止中

1. TITLE/GROUPボタンを押す。

「- -」がディスプレイウィンドウのタイトル/グループ表示部へ表示されます。

例：DVD VIDEO再生中の場合



2. 「- -」が表示されているときに数字ボタン（0～10、≧10）を押して必要なタイトル番号あるいはグループ番号を入力する。

選択したタイトル/グループの一番目のチャプター/トラック/ファイルから再生がスタートします。

- 数字ボタンの使い方については、左の欄の枠の中を参照してください。

ご注意

- DVD VRディスクのタイトルの頭出しを行うと、「PG」あるいは「PL」インディケーターがディスプレイウィンドウに点灯します。
- この機能はディスク/ファイルによっては使えない場合があります。

管理画面でタイトル/プレイリストを選択する

再生中あるいは停止中

1. TOP MENU/PG ボタンあるいは MENU/PL ボタンを押す。

テレビ画面に管理画面が表示されて、一番目のタイトル/プレイリストの再生がスタートします。

- 「PLAY LIST」画面は、DVD VR にプレイリストが存在している場合に限り表示されます。

TOP MENU/PG ボタン：「ORIGINAL PROGRAM」画面を表示させます。

例：

ORIGINAL PROGRAM

No	Date	Ch	Time	Title
1	25/04/06	4ch	19:00	DVD World 2006
2	17/05/06	8ch	10:30	
3	22/05/06	8ch	17:00	Music Festival
4	26/05/06	L-1	13:19	children 001
5	20/06/06	4ch	22:00	
6	25/06/06	L-1	8:23	children 002

*1　*2　*3　*4　*5　*6

*1　タイトル番号
*2　収録日
*3　収録ソース（テレビチャンネル、収録機器の入力端子など）
*4　収録開始時刻
*5　オリジナルプログラム/プレイリストのタイトル（タイトルは収録機器によっては表示されないことがあります）
*6　再生中のタイトル

MENU/PL ボタン：「PLAY LIST」画面を表示させます。

例：

PLAY LIST

No	Date	Chap	Length	Title
1	25/05/06	001	1:03:16	My World
2	17/06/06	005	1:35:25	
3	20/06/06	003	0:10:23	Favorite music
4	25/06/06	001	0:07:19	children001-002

*7　*8　*9　*10　*5　*11

*7　プレイリスト番号
*8　プレイリストの作成日
*9　チャプター番号
*10　総再生時間
*11　再生中のプレイリスト

2. カーソルボタン（▲/▼）を押してタイトル/プレイリストを選択する。

選択したタイトル/プレイリストの再生がスタートします。

管理画面を消すには

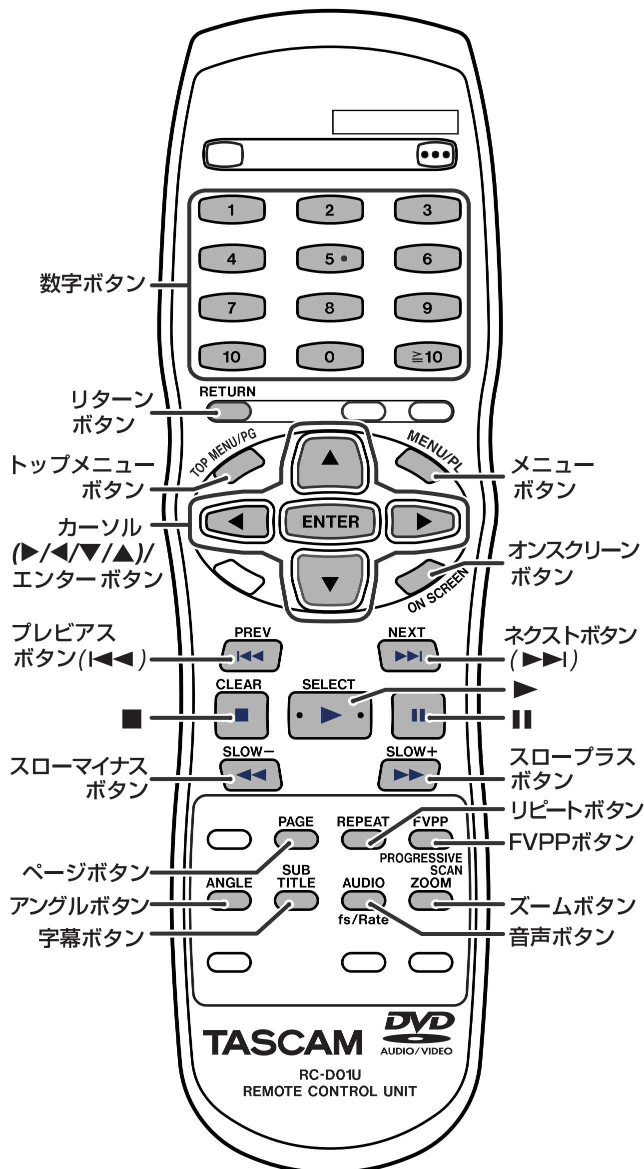
ENTER ボタンを押します。

DVD VR ディスクについて

- オリジナルプログラム（ORIGINAL PROGRAM）：
  収録順に映像を再生します。
- プレイリスト（PLAY LIST）：
  収録機器で編集したプレイリストを再生します。

● DVD VIDEO などのアイコンは利用可能なディスク形式やファイルの種類を示しています。

以下のボタンは 19～28ページで使用されます。



オンスクリーンバーを使う

オンスクリーンバー上でディスク情報をチェックしたりいくつかの操作をすることができます。

オンスクリーンバーを表示させる

■ ディスクが装着されていればいつでも

ON SCREENボタンを押す。

DVD VIDEO | DVD VR | DVD AUDIO | VCD | SVCD | JPEG | ASF | MPEG 2/1 | DivX

ボタンを押すたびにテレビ画面上のオンスクリーンバーが以下のように切り替わります。

例：DVD VIDEO再生中

DVD-VIDEO Dolby D 2/0 . 0ch TITLE 1 CHAP 3 Time 0:01:40 ▶



DVD-VIDEO Dolby D 2/0 . 0ch TITLE 1 CHAP 3 Time 0:01:40 ▶
TIME OFF CHAP. 1/8 1/ 3 1/1



（オンスクリーンバーが消える）



（最初のバー表示に戻る）

● 現在選択されているアイテムがハイライトで示されます。

■ 再生中のオンスクリーンバーの内容

DVD VIDEO

1 DVD-VIDEO / 2 Dolby D 2/0 . 0ch / 3 TITLE 1 / 4 CHAP 3 / 5 Time 0:01:40 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9 / 10 CHAP. / 11 1/8 / 12 1/ 3 / 13 1/1

DVD VR disc

1 DVD-VR / 2 Dolby D 2/0 . 0ch / 3 PG 1 / 4 CHAP 3 / 5 TOTAL 0:00:34 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9 / 10 CHAP. / 11 ST / 12 ON

DVD AUDIO

1 DVD-AUDIO / 2 PPCM 2/0 . 0ch / 3 GROUP2 / 4 TRACK 14 / 5 Time 0:01:40 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9 / 10 TRACK / 11 1/2 / 16 PAGE 1/3

VCD

1 VCD / 4 TRACK 14 / 5 Time 0:04:58 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9 / 11 ST

SVCD

1 SVCD / 4 TRACK 14 / 5 Time 0:04:58 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9 / 11 ST1 / 12 1/4

CD

1 CD / 14 PROGRAM / 4 TRACK 14 / 5 Time 0:04:58 / 6 ▶
7 TIME / 8 OFF / 9

ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX

FILE / 15 REPEAT TRACK / 5 Time 0:04:58 / 6 ▶

1 ディスク種類を表示します。
2 オーディオ情報を表示します。
3 DVD VIDEOの場合：　再生中のタイトル番号を表示します。
DVD VRの場合：　現在の再生モード（PG：オリジナルプログラム、PL：プレイリスト）とタイトル番号を表示します。
DVD AUDIOの場合：再生中のチャプター番号を表示します。
4 DVD VIDEOとDVD VRの場合：再生中のチャプター番号を表示します。
ほかの種類のディスクの場合：再生中のトラック番号を表示します。
5 時間情報を表示します。下の「時間情報を切り替える」を参照してください。
6 再生状態を表示します。
▶：再生中であることを示します。
▶▶ / ◀◀：早送り/巻き戻し中であることを示します。
|▶ / ◀|：スロー送り/スロー戻し中であることを示します。
❙❙：一時停止中であることを示します。
■：停止中であることを示します。
7 時間情報（5）を切り替えるときにここを選択します。下の「時間情報を切り替える」を参照してください。
8 リピート再生を行うときにここを選択します。（26ページ参照）
9 タイムサーチ機能を使うときにここを選択します。（22ページ参照）
10 チャプターあるいはトラックサーチ機能を使うときにここを選択します。（21ページ参照）
11 音声言語を切り替えるときにここを選択します。（24ページ参照）
12 字幕言語とサブピクチャーを切り替えるときにここを選択します。（23ページ参照）
13 カメラアングルを切り替えるときにここを選択します。（23ページ参照）
14 再生モード状態を示します。
PROGRAM：プログラム再生中であることを示します。（25ページ参照）
RANDOM：ランダム再生中であることを示します。（26ページ参照）
15 リピートモード状態を示します。（26ページ参照）
16 ページを切り替えるときにここを選択します。（28ページ参照）

時間情報を切り替える

テレビ画面と本機のディスプレイウィンドウの時間表示を切り替えることができます。



■ 再生中

1. ON SCREENボタンを押す。

オンスクリーンバーがテレビ画面に表示されます。

2. カーソルボタン（▶/◀）を押して TIME を強調表示させる。

3. ENTERボタンを何度か押して希望する時間情報を選択する。

例：ディスクの再生経過時間を選んだ場合

TOTAL 1:25:58

■ DVD VIDEO/DVD VR
- Time：再生中のチャプターの再生経過時間
- REM：再生中のチャプターの残り時間
- TOTAL：タイトルの再生経過時間
- T.REM：タイトルの残り時間

■ DVD AUDIO/VCD/SVCD/CD
- Time：再生中のトラックの再生経過時間
- REM：再生中のトラックの残り時間
- TOTAL：ディスクの再生経過時間
- T.REM：ディスクの残り時間

4. ON SCREENボタンを押す。

オンスクリーンバーが消えます。

ご注意

- DVD VRの再生中は、「TIME」と「REM」を表示させることができません。

指定した位置から再生する

指定したタイトル、チャプター、トラックから再生をスタートさせることができます。時間を指定して、そのポイントから再生をスタートさせることも可能です。

DVDメニューから希望の場面を頭出しする

DVDディスクには通常コンテンツをテレビ画面に表示するいくつかのメニューが用意されています。これらのメニューを使って希望の場面を頭出しすることができます。



■ DVDディスクがセットされているときならいつでも

1. TOP MENU/PGボタンあるいはMENU/PLボタンを押す。

テレビ画面にメニューが表示されます。

普通、複数のタイトルが収録されているDVDディスクには、タイトルをリストアップしたトップメニューが用意されています。同じように、複数のグループが収録されているDVD AUDIOディスクの場合も、グループをリストアップしたトップメニューが用意されています。トップメニューを表示させるにはTOP MENU/PGボタンを押します。

ディスクによってはトップメニューとは異なるメニューも用意されている場合があります。こうしたメニューを表示させるにはMENU/PLボタンを押します。

2. カーソルボタン（▶/◀/▼/▲）を使って希望の項目を選択する。

3. ENTERボタンを押す。

- ディスクによっては、数字ボタンで項目を選択することも可能です。

ご注意

- ディスクによっては希望の場面の頭出しができないものもあります。

PBC対応VCD/SVCDのメニューから希望の場面を頭出しする



PBCを使って作成されたVCDあるいはSVCDには、曲のリストなどのメニューが用意されています。こうしたメニューを使って希望の場面を頭出しすることができます。

■ PBCオンの再生中

1. **RETURNボタンを何度か押してテレビ画面にメニューを表示させる。**

2. **数字ボタン（0～10、≧10）を使って、希望する項目の番号を入力する。**
   - 数字ボタンの使い方については17ページの枠囲み部分を参照してください。

メニューに戻るには

メニューが表示されるまで繰り返しRETURNボタンを押してください。

テレビ画面に「NEXT」あるいは「PREVIOUS」が表示されているとき

- NEXT(►►I)ボタンを押すと、次のページへ進みます。
- PREV(I◄◄)ボタンを押すと、前のページへ戻ります。

ご注意

- PBC対応のVCD/SVCDディスクを、PBCをオフにして再生したいときは、以下のいずれかの手順を実行してください。
  - 停止中に数字ボタンを押して再生をスタートさせる。
  - ►►I ボタンを何度か押して希望のトラック番号を表示させてから、►（再生）ボタンを押して再生をスタートさせる。
- 「PBC」の代わりにトラック番号がディスプレイウィンドウに表示されます。
  PBC対応のVCD/SVCDディスクをPBCオフで再生中にPBCをオンにするには、以下のいずれかの手順を実行してください。
  - TOP MENU/PGボタンあるいはMENU/PLボタンを押す。
  - ■ボタンを2回押して再生をストップさせてから►（再生）ボタンを押す。

オンスクリーンバーを使って希望のチャプターあるいはトラックを頭出しする

■ 再生中



1. **ON SCREENボタンを2回押す。**
   テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。

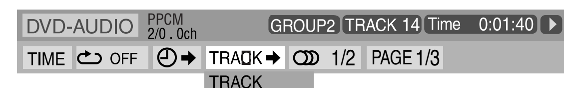
2. **カーソルボタン（►/◄）を使って CHAP.➡ あるいは TRACK➡ を強調表示させる。**

3. **ENTERボタンを押す。**

DVD VIDEO



DVD VR disc



4. **数字ボタン（0～9）を押して希望のチャプター番号を入力する。**
   例：
   チャプター８を指定するには：　８を押す。
   チャプター10を指定するには：１、０の順で押す。
   チャプター20を指定するには：２、０の順で押す。
   チャプター37を指定するには：３、７の順で押す。

間違った数字を押してしまったときは

手順４をやり直してください。

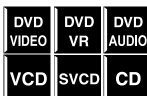
5. **ENTERボタンを押す。**

6. **ON SCREENボタンを押す。**
   オンスクリーンバーが消えます。

ご注意

- 指定できるのは99番目のチャプターまでです。
- 上記の機能は、音声のみのDVD AUDIOディスクでは使用できません。

時間を指定して希望のポイントを頭出しする



■ DVD VIDEO/DVD VR/DVD AUDIO の場合：再生中

■ VCD/SVCD の場合：停止中あるいは PBC オフでの再生中

■ CD の場合：再生中あるいは停止中

■ ディスクの頭からの再生経過時間を指定するときは

停止中に以下の手順を実行してください。

■ 再生中のタイトル/トラックの頭からの再生経過時間を指定するときは

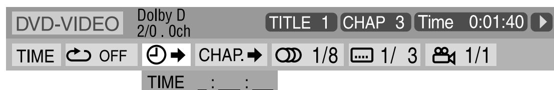
再生中に以下の手順を実行してください。

1. ON SCREEN ボタンを 2 回押す。

テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。

2. カーソルボタン（▶/◀）を使って ⌚➜ を強調表示させる。

3. ENTER ボタンを押す。



4. 数字ボタン（0 〜 9）を使って時間を入力する。

指定できるのはディスクの頭からの再生経過時間ポイント（停止中）か、または現在再生中のタイトル/トラックの頭からの再生経過時間ポイント（再生中）です。

例：2 時間 34 分 08 秒のポイントから再生するには

TIME _:_ _:_ _ ⇨ TIME 2:_ _:_ _ ⇨
2 を押す　3 を押す

TIME 2:3_:_ _ ⇨ TIME 2:34:_ _ ⇨
4 を押す　0 を押す

TIME 2:34:0_ ⇨ TIME 2:34:08
8 を押す

間違った数字を押してしまったときは

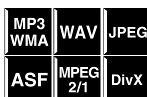
何度かカーソルボタンを押します。

5. ENTER ボタンを押す。

6. ON SCREEN ボタンを押す。

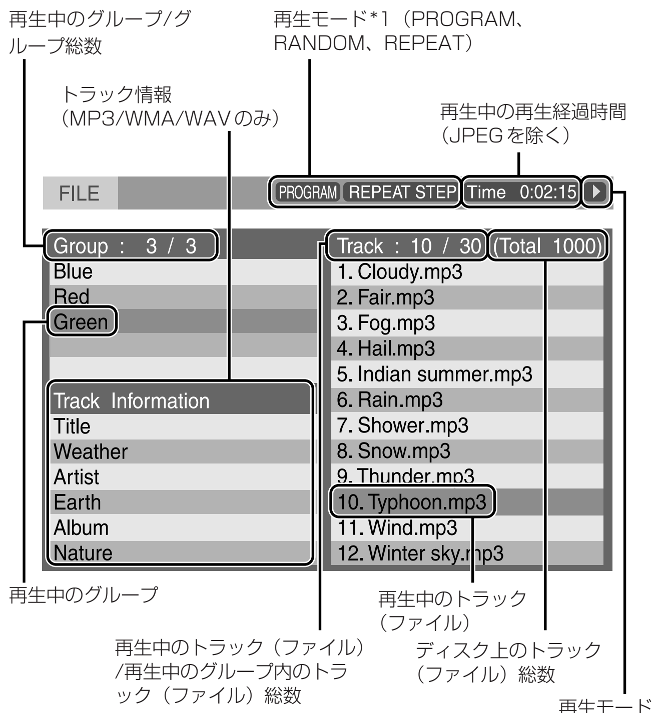
オンスクリーンバーが消えます。

ファイル管理画面を使う



テレビ画面のファイル管理画面を使って希望のグループやトラック/ファイルをサーチして再生することができます。

例：ソースが DVD のとき



*1（JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX の場合）　プログラムモードとランダムモードは利用できません。

ファイル管理画面は再生中（MP3/WMA/WAV）あるいは停止中に自動的に表示されます。

■ MP3/WMA/WAV の場合：再生中あるいは停止中

■ JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX の場合：停止中

1. カーソルボタン（▶/◀/▼/▲）を使って希望のグループ/トラック/ファイルを選ぶ。

- MP3/WMA/WAV の場合は選択したトラックから再生がスタートします。
- JPEG の場合は以下の手順に進んでください。

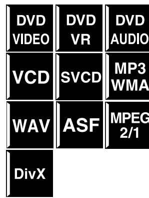
2. ▶（再生）ボタンあるいは ENTER ボタンを押す。

- トラック再生/スライドショーが選択したトラック/ファイルからスタートします。
- JPEG ファイルに対して ENTER ボタンを押した場合は選択したファイルだけが再生されます。

ご注意

- （MP3/WMA/WAV の場合）　再生中に ▶▶I/I◀◀ ボタンあるいはカーソルボタン（▲/▼）を押すことによって希望のトラック/ファイルの頭出しを行うことができます。
- ディスプレイウィンドウで再生情報をチェックすることもできます。（20 ページ参照）
- 収録状態によっては正しく表示されないグループ名、トラック名、ファイル名があります。
- グループ、トラック、ファイルの表示順は、パソコン上の表示順と異なる場合があります。
- ファイル名が長い場合、拡張子が表示されないことがあります。

リジューム再生



リジューム再生機能が「ON」に設定（31ページ参照）されているとき、以下の操作で再生をストップさせると、そのポイントが記憶されます。（RESUMEインジケーターがディスプレイウィンドウに点灯します。）

- 電源を切る（12ページ参照）。
- ■ボタンを１回押す。

記憶させたポイントから再生をスタートさせるには

►（再生）ボタンを押す。

記憶させたポイントをクリアするには

もう一度■ボタンを押す。

- トレーを引き出したときにも記憶ポイントはクリアされます。

ご注意

- （DivXの場合）　再生をストップした場面の頭が記憶されます。

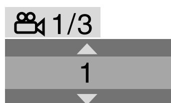
カメラアングルを選ぶ



複数のカメラアングルが用意されているディスクを再生中

ANGLEボタンを使う方法

1. **ANGLEボタンを押す。**
   例：３つのカメラアングルの中から１番目のアングルを選んだ場合



2. **ANGLEボタンを何度か押すかカーソルボタン（▼/▲）を使って希望のアングルを選択する。**

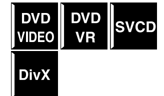
オンスクリーンバーを使う方法

1. **ON SCREENボタンを２回押す。**
   テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。
2. **カーソルボタン（►/◄）を使って 1/3 を強調表示させる。**
3. **ENTERボタンを押す。**



4. **カーソルボタン（▼/▲）を使って希望のアングルを選ぶ。**
5. **ENTERボタンを押す。**
6. **ON SCREENボタンを押す。**
   オンスクリーンバーが消えます。

字幕を選ぶ



■ 複数の言語の字幕が用意されているディスク/ファイルの再生中

SUBTITLEボタンを使う方法

1. **SUBTITLEボタンを押す。**
   例（DVD VIDEO）：３種類の言語の中から英語が選ばれている場合



2. **カーソルボタン（▼/▲）を使って希望する言語の字幕を選択する。**
   DVD VRの場合：
   サブピクチャーが用意されていないとサブピクチャーを切り替えることはできません。
   SVCDの場合：
   字幕が用意されていないと字幕は切り替わりません。

字幕を消すには

手順の２で「OFF」を選びます。

オンスクリーンバーを使う方法

1. **ON SCREENボタンを２回押す。**
   テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。
2. **カーソルボタン（►/◄）を使って 1/3 を強調表示させる。**
3. **ENTERボタンを押す。**



4. **カーソルボタン（▼/▲）を何度か押して字幕を選ぶ。**
5. **ENTERボタンを押す。**
6. **ON SCREENボタンを押す。**
   オンスクリーンバーが消えます。

字幕を消すには

手順４で「OFF」を選びます。

ご注意

- 字幕言語あるいは音声言語の中には省略された形でポップアップ表示されるものがあります。「言語コードリスト」（29ページ）を参照してください。
- SUBTITLEボタンを押すたびに、字幕がオン、オフを繰り返します。
- DivXの場合はオンスクリーンバーを使って字幕の切り替えはできません。

音声言語を選ぶ



■ 複数言語の音声が用意されているディスク/ファイルの再生中

AUDIO ボタンを使う方法

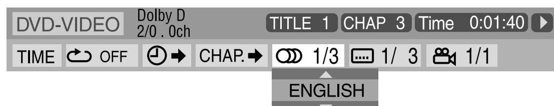
1. AUDIO ボタンを押す。
   例（DVD VIDEO）：３種類の言語音声から英語が選ばれている場合



2. AUDIO ボタンを何度か押すかカーソルボタン（▼/▲）を使って希望する音声を選択する。

オンスクリーンバーを使う方法

1. ON SCREEN ボタンを 2 回押す。
   テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。
2. カーソルボタン（▶/◀）を使って 1/3 を強調表示させる。
3. ENTER ボタンを押す。



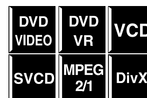
4. カーソルボタン（▼/▲）を使って希望する音声を選ぶ。
5. ENTER ボタンを押す。
6. ON SCREEN ボタンを押す。
   オンスクリーンバーが消えます。

ご注意

- 字幕言語あるいは音声言語の中には省略された形でポップアップ表示されるものがあります。「言語コードリスト」（29 ページ）を参照してください。
- VCD の再生中に表示される「ST」、「L」、「R」はそれぞれ「Stereo」、「Left sound」、「Right sound」の略です。
- SVCD を再生すると、「ST1」、「ST2」、「L1」、「R1」、「L2」、「R2」のいずれかが表示されます。
- DivX の場合はオンスクリーンバーを使って音声言語を切り替えることはできません。

映像特殊再生

コマ送り再生



■ 再生中

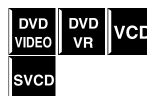
❚❚ ボタンを繰り返し押す

ボタンを押すたびに 1 コマずつ進みます。

通常の再生に戻すには

►（再生）ボタンを押します。

スロー再生



■ 再生中

1. スロー再生をスタートさせたいところで ❚❚ ボタンを押す。
   本機はポーズモードに入ります。
2. SLOW+ ボタンを押す。
   順方向のスロー再生がスタートします。

   DVD VIDEO の場合のみ：
   - SLOW- ボタンを押すと逆方向へのスロー再生がスタートします。

   ボタンを押すたびに再生速度が速くなります。
   例：テレビ画面



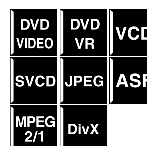
通常の再生に戻すには

►（再生）ボタンを押します。

ご注意

- スロー再生中、音声は聞こえません。

ズームイン



■ 再生中あるいは一時停止中

1. ZOOM ボタンを押す。
   ZOOM ボタンを押すたびに倍率が切り替わります。
2. ズームイン中、カーソルボタン（▶/◀/▼/▲）を押してズームインポイントを移動させる。

通常の再生に戻すには

ZOOM ボタンを何度か押して「ZOOM OFF」を選択する。

ご注意

- ディスクの種類によって倍率の数値は異なります。
- JPEG のスライドショー再生中はズームイン機能は使用できません。❚❚ ボタンを押してスライドショーをポーズ状態にしてからズームイン操作を行ってください。
- 再生中、手順 2 でカーソルボタン（▶/◀/▲/▼）が機能しない場合があります。

VFP設定を変更する

DVD VIDEO / DVD VR / DVD AUDIO / VCD / SVCD / JPEG / ASF / MPEG 2/1 / DivX

VFP（ビデオファインプロセッサ）を使って映像の質感を微調整することができます（テレビをHDMI接続しているときは使用できません）。

■ DVD VIDEO/DVD VR/VCD/SVCDの場合：再生中
■ DVD AUDIOの場合：再生中でかつ映像が表示されているとき

1. FVPPボタンを押す。

現在のVFP設定がテレビ画面に表示されます。

例：

NORMAL	
GAMMA	0
BRIGHTNESS	0
CONTRAST	0
SATURATION	0
TINT	0
SHARPNESS	0

2. カーソルボタン（▶/◀）を何度か押してVFPモードを選ぶ。

- NORMAL ：通常はこのモードに設定します。
- CINEMA ：ムービー映像に適しています。

NORMALあるいはCINEMAを選んだ場合はVFPボタンを押して設定作業を終えます。

- USER1、USER2 ：画質を微調整するときのモードです。

手順2でUSER1かUSER2を選んだ場合のみ次の手順に進んでください。

3. カーソルボタン（▼/▲）を使って調整したい項目を選ぶ。画質を確認しながら少しずつ調整してください。

- GAMMA ：暗い部分と明るい部分の輝度をそのままにして中間色の輝度を調整します（-3～+3）。
- BRIGHTNESS ：画面の輝度を調整します（-8～+8）。
- CONTRAST ：画面のコントラストを調整します（-7～+7）。
- SATURATION ：画面の色の深みを調整します（-7～+7）。
- TINT ：画面の色合いを調整します（-7～+7）。
- SHARPNESS ：色の鮮明感を調整します（-8～+8）。

4. ENTERボタンを押す。

例：

GAMMA　0

5. カーソルボタン（▼/▲）を使って設定を変更する。

6. ENTERボタンを押す。

現在のVFP設定が再び表示されます。

7. 手順の3～6を繰り返してほかの項目を調整する。

8. FVPPボタンを押す。

ご注意

- 調整作業の途中で設定画面が消えても、その時点での設定は記憶されます。
- テレビをHDMI端子を通して接続してる場合はFVP機能は利用できません。
- テレビをCOMPONENT VIDEO OUT端子に接続してある場合は「TINT」設定は機能しません。

プログラム再生

DVD VIDEO / DVD AUDIO / VCD / SVCD / CD / MP3 WMA / WAV

■ 停止中

1. PLAY MODEボタンを何度か押してテレビ画面にPROGRAM画面を表示させる。

ディスプレイウィンドウに「PRG」インジケータが点灯します。

PROGRAM

No	Group/Title	Track/Chapter
1		
2		
3		
4		
5		
6		
7		
8		
9		
10		

2. テレビ画面に現れる指示に従ってトラックをプログラムする。

- 数字ボタンの使い方については17ページの枠囲み部分を参照してください。
- プログラムする対象はディスクの種類によって異なります。
  - DVD VIDEO ：タイトルとチャプター
  - DVD AUDIO ：グループとトラック
  - VCD、SVCD、CD ：トラック
  - MP3/WMA/WAV ：グループとトラック
- プログラム可能なトラックの最大番号値は99です。
- グループやタイトルが収録されていないディスクの場合でもグループ番号やタイトルク番号が入力できてしまうことがあります。このようなディスクの場合はENTERボタンを押して「Track/Chapter」欄へ移動してください。
- 「Track/Chapter」欄で数字ボタンの代わりにENTERボタンを押すと、「ALL」が表示されてディスク上のトラックのすべてが一度にプログラムされます。

プログラム最後からひとつひとつ削除するには

CANCELボタンを繰り返し押してください。

プログラムの内容をすべて削除するには

CANCELボタンを押し続けます。

本機の電源を切ったときもすべてのプログラム内容は削除されます。

3. ▶（再生）ボタンを押す。

プログラムしたすべてのトラックの再生が終わると再生動作はストップしてPROGRAMウィンドウが再び表示されます。プログラム内容はそのまま残っています。

プログラム内容をチェックするには

再生中■ボタンを押します。再生がストップしてPROGRAMウィンドウが表示されます。

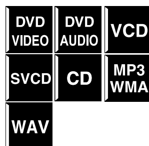
プログラムモードを解除するには

再生停止中にPLAY MODEボタンを何度か押して、テレビ画面から「PROGRAM」ウィンドウが消え、ディスプレイウィンドウの「PRG」インジケーターが消灯します。

ご注意

- DVD AUDIOディスクのボーナスグループの中のトラック（隠しトラック）をプログラムしようとするとパスワードの入力が要求されます。（28ページ参照）
- プログラム再生でリジューム機能を使うことはできません。
- ディスクによってはプログラム再生できないものあります。

ランダム再生



ディスクのトラックをランダムな順番で再生させることができます。

■ 停止中

1. PLAY MODEボタンを何度か押してテレビ画面に RANDOM を表示させる。

「RND」インジケーターがディスプレイウィンドウに表示されます。

2. ►（再生）ボタンを押す。

ディスク上のすべてのタイトル/トラックを再生し終えると再生はストップします。
同一タイトル/トラックが何度も再生されることはありません。

ランダムモードを解除するには

停止中にPLAY MODEボタンを何度か押して、テレビ画面の RANDOM とディスプレイウィンドウの「RND」を消灯させます。
本機の電源を切ったときもランダムモードは解除されます。

ご注意

- ランダム再生では、ボーナスグループ（隠しトラック）は再生されません。（28ページ参照）

リピート再生

再生中のトラックあるいはすべてのトラックなどをリピート再生することができます。



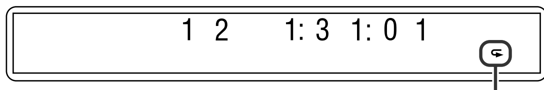
■ DVD VIDEO/DVD VRの場合：再生中

■ VCD/SVCDの場合：PBCオフでの再生中あるいは停止中

■ DVD AUDIO/CD/MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXの場合：再生中あるいは停止中

REPEATボタンを使う方法

1. REPEATボタンを押す。



リピートモードインジケーター

REPEATボタンを押すたびにリピートモードが切り替わります。

ディスプレイウィンドウ	テレビ画面	意味
↻	↻GROUP REPEAT GROUP	現在再生中のグループをリピート再生する（DVD AUDIO/MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXの場合）
	↻TITLE	現在再生中のタイトルをリピート再生する（(DVD VIDEOの場合）
	↻PG	オリジナルプログラムモードで再生中のタイトルをリピート再生する（DVD VRの場合）
	↻PL	現在再生中のタイトルをリピート再生する（(DVD VIDEOの場合）
↻ ALL	↻ALL REPEAT ALL	すべてのトラックをリピート再生
↻ 1	↻TRACK ↻STEP REPEAT TRACK, REPEAT STEP	現在再生中のトラックをリピート再生（DVD UDIO/VCD/SVCD/CD/MP3/WMA/WAV/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXの場合）
	↻CHAP ↻STEP	現在再生中のチャプターをリピート再生（DVD VIDEO/DVD VRの場合）
No indication	↻OFF	リピートモードオフ。ディスク/ファイルは普通に再生されます。

ご注意

- DVD VIDEOの場合、「REPEAT ALL」は、ディスクによっては利用できません。

オンスクリーンバーを使う方法（MP3/WMA/WAV/JPEG/ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivX以外の場合）

1. ON SCREENボタンを2回押す。

テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。

2. カーソルボタン（►/◄）を使って ↻OFF を強調表示させる。

3. ENTERボタンを押す。



4. カーソルボタン（▼/▲）でリピートモードを選ぶ。

5. ENTERボタンを押す。

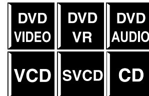
6. ON SCREENボタンを押す。

オンスクリーンバーが消えます。

リピート再生を解除するには

手順４で「OFF」を選びます。

指定した区間をリピート再生する（A-B リピート）



指定したＡポイントからＢポイント間をリピート再生することができます。

■ 再生中

1. ON SCREEN ボタンを２回押す。
オンスクリーンバーがテレビ画面に表示されます。

2. カーソルボタン（▶/◀）で OFF を強調表示させる。

3. ENTER ボタンを押す。



4. カーソルボタン（▼/▲）で「A-B」を選ぶ。

5. ENTER ボタンを押してリピートスタートポイント（A ポイント）を設定する。



ディスプレイウィンドウにリピートモードインジケーター「 A－ 」が表示されます。

6. ENTER ボタンを押してリピートエンドポイント（B ポイント）設定する。
ディスプレイウィンドウのリピートモードインジケーターが「 A － B」に変わって A-B 区間のリピート再生がスタートします。

7. ON SCREEN ボタンを押す。
オンスクリーンバーが消えます。

解除するには

手順４で「OFF」を選んでから ENTER ボタンを押します。

ご注意

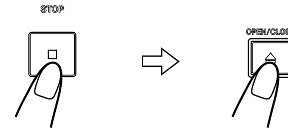
- DVD VIDEO の場合は、A-B リピート再生は同一タイトル内でのみ可能です。
- DVD AUDIO/VCD/SVCD/CD の場合は、A-B リピート再生は同一トラック内でのみ可能です。
- プログラム再生中とランダム再生中は「A-B」モードを選ぶことができません。
- PBC オンでの再生中は「A-B」モードを選ぶことができません。

トレーロック

再生途中でうっかりディスクトレーを開けてしまうことを防ぐことができます。

ロック操作は本機上でのみ可能です：

本機の電源を切った状態で



押したままで

- 「LOCKED」がディスプレイウィンドウに表示されます。
- トレーを開けようとするとロックされていることを示す「LOCKED」が表示されます。

解除するには

上記のボタン操作を繰り返します。

- 「UNLOCKED」がディスプレイウィンドウに表示されます。

DVD AUDIO ディスクの静止画を切り替える



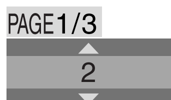
多くの DVD AUDIO ディスクには静止画が収録されていて、音楽の再生中、自動的に順次閲覧できるようになっています。しかし表示中の静止画に別のページが存在している場合、ディスプレイウィンドウに「B.S.P.」インジケーターが点灯し、画像を手動で切り替える（ページをめくる）ことができます。

ご注意

- 切り替え可能な画像が存在している部分のスタートポイントに来ると、テレビ画面に「PAGE」（選択言語によっては別の単語）が表示されます。

PAGE ボタンを使う方法

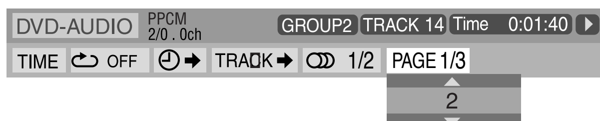
1. **PAGE ボタンを押す。**
   テレビ画面にページ切り替えバーが表示されます。



2. **カーソルボタン（▼/▲）でページを選ぶ。**
   - PAGE ボタンを押しても次のページに行くことができます。

オンスクリーンバーを使う方法

1. **ON SCREEN ボタンを２回押す。**
   テレビ画面にオンスクリーンバーが表示されます。
2. **カーソルボタン（▶/◀）で PAGE1/3 を強調表示させる。**
3. **ENTER ボタンを押す。**



4. **カーソルボタン（▼/▲）でページを選ぶ。**
5. **ENTER ボタンを押す。**
6. **ON SCREEN ボタンを押す。**
   オンスクリーンバーが消えます。

DVD AUDIO ディスクのボーナスグループを再生する



DVD AUDIO ディスクのなかには「ボーナスグループ」と呼ばれる一般に公開されていない隠しファイルが収納されているものがあります。ボーナスグループを持つディスクを読み込むと「BONUS」インジケーターがディスプレイウィンドウに点灯します。ボーナスグループは収録されている最後のグループと決められています（例えば、ボーナスグループを含めて４つのグループが収録されているディスクの場合は４番目のグループがボーナスグループとなります）。

ボーナスグループを再生するには特定のパスワードを入力する必要があります。パスワードの入手方法はディスクによって異なります。パスワードを入手したら、以下の手順でボーナースグループを再生することができます。

■ ボーナスグループを持つディスクの再生停止中

1. **数字ボタン（0～9）を押してボーナスグループ（最終グループ）番号を入力する。**
   パスワード入力を促すウィンドウが表示されます。



2. **数字ボタン（0～9）を押してパスワードを入力する。**
   - 正しいパスワードが入力されるとボーナスグループの再生がスタートします。
   - パスワードが間違っているとパスワード入力を促すウィンドウが表示されたままとなります。

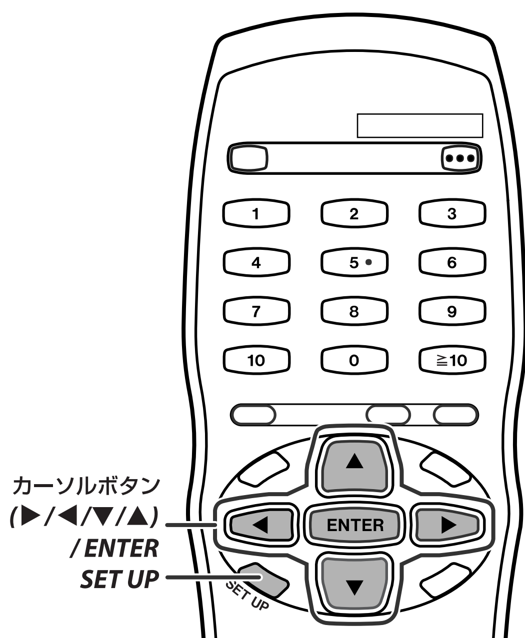
ご注意

- プログラム再生の設定時にボーナスグループ内のトラックを指定すると、上記のパスワード入力画面が表示されます。
- ランダム再生モードではボーナスグループ内のトラックは再生されません。
- パスワード入力画面を消すには以下のいずれかの操作を行ってください。
  - ■ ボタンを押す。
  - ディスクトレーを開ける。
  - 電源を切る。

セットアップメニューを使う

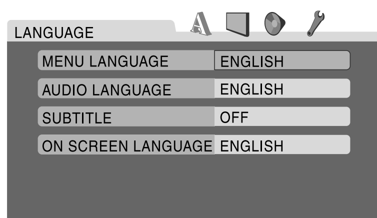
● セットアップメニューの言語を切り替えることができます。下の「メニュー解説」を参照してください。

セットアップメニューの基本操作



■ 停止中

1. SET UP ボタンを押す。



2. テレビ画面に現れる指示にしたがって操作する。

メニュー解説

A ：言語メニュー (LANGUAGE)

■ MENU LANGUAGE

複数言語のメニューが用意されているDVDがあります。

● 初期言語*を選んでください。

■ AUDIO LANGUAGE

複数の音声言語が用意されているDVDがあります。

● 初期音声言語*を選んでください。

■ SUBTITLE

複数言語の字幕が用意されているDVDがあります。

● 初期字幕言語*を選んでください。

■ ON SCREEN LANGUAGE

● テレビ画面に表示される文字の言語を選んでください。

● 選んだ言語がディスクにない場合は自動的にオリジナル言語が初期言語となります。

ご注意

● 各言語コードについては以下の「言語コードリスト」を参照してください。

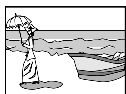
言語コードリスト

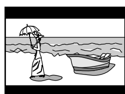
AA	Afar	IK	Inupiak	RN	Kirundi
AB	Abkhazian	IN	Indonesian	RO	Rumanian
AF	Afrikaans	IS	Icelandic	RW	Kinyarwanda
AM	Ameharic	IW	Hebrew	SA	Sanskrit
AR	Arabic	JI	Yiddish	SD	Sindhi
AS	Assamese	JW	Javanese	SG	Sangho
AY	Aymara	KA	Georgian	SH	Serbo-Croatian
AZ	Azerbaijani	KK	Kazakh	SI	Singhalese
BA	Bashkir	KL	Greenlandic	SK	Slovak
BE	Byelorussian	KM	Cambodian	SL	Slovenian
BG	Bulgarian	KN	Kannada	SM	Samoan
BH	Bihari	KO	Korean (KOR)	SN	Shona
BI	Bislama	KS	Kashmiri	SO	Somali
BN	Bengali, Bangla	KU	Kurdish	SQ	Albanian
BO	Tibetan	KY	Kirghiz	SR	Serbian
BR	Breton	LA	Latin	SS	Siswati
CA	Catalan	LN	Lingala	ST	Sesotho
CO	Corsican	LO	Laothian	SU	Sundanese
CS	Czech	LT	Lithuanian	SV	Swedish
CY	Welsh	LV	Latvian, Lettish	SW	Swahili
DA	Danish	MG	Malagasy	TA	Tamil
DZ	Bhutani	MI	Maori	TE	Telugu
EL	Greek	MK	Macedonian	TG	Tajik
EO	Esperanto	ML	Malayalam	TH	Thai
ET	Estonian	MN	Mongolian	TI	Tigrinya
EU	Basque	MO	Moldavian	TK	Turkmen
FA	Persian	MR	Marathi	TL	Tagalog
FI	Finnish	MS	Malay (MAY)	TN	Setswana
FJ	Fiji	MT	Maltese	TO	Tonga
FO	Faroese	MY	Burmese	TR	Turkish
FY	Frisian	NA	Nauru	TS	Tsonga
GA	Irish	NE	Nepali	TT	Tatar
GD	Scots Gaelic	NL	Dutch	TW	Twi
GL	Galician	NO	Norwegian	UK	Ukrainian
GN	Guarani	OC	Occitan	UR	Urdu
GU	Gujarati	OM	(Afan) Oromo	UZ	Uzbek
HA	Hausa	OR	Oriya	VI	Vietnamese
HI	Hindi	PA	Panjabi	VO	Volapuk
HR	Croatian	PL	Polish	WO	Wolof
HU	Hungarian	PS	Pashto, Pushto	XH	Xhosa
HY	Armenian	PT	Portuguese	YO	Yoruba
IA	Interlingua	QU	Quechua	ZU	Zulu
IE	Interlingue	RM	Rhaeto-Romance		

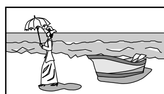
：PICTUREメニュー

■ MONITOR TYPE（モニタータイプ）
縦横比16:9で映像が記録されているDVDを再生するとき、使用テレビに合わせてモニタータイプを選択することができます。

- **4:3 PS （パンスキャン変換）**
  縦横比4:3の一般的なテレビをご使用の場合の設定です。ワイドスクリーン映像を再生すると、上下に黒帯は現れないものの、映像の左右の端がカットされてしまいます。
- **4:3 LB　（レターボックス変換）**
  縦横比4:3の一般的なテレビをご使用の場合の設定です。ワイドスクリーン映像を再生すると、上下に黒帯が現れます。
- **16:9 AUTO　（ワイドテレビ変換）**
  縦横比16:9のワイドテレビ用の設定です。
- **16:9 NORMAL　（ワイドテレビ変換）**
  縦横比16:9固定のワイドテレビ用の設定です。
  縦横比4:3で映像が記録されているDVDを再生すると本機は出力信号の縦横比を自動的に調節します。


4:3 PSの例


4:3 LBの例


16:9の例

ご注意

- ご使用のDVDによっては、「4:3 PS」に設定しても実際の画面は「4:3 LB」になることがあります。これはDVDの記録の仕方によります。
- スキャンモードを「1080i」あるいは「720p」に設定すると（10ページ参照）、自動的に「16:9 AUTO」に設定されます。

■ PICTURE SOURCE（映像ソース）
スキャンモードを「480p」か「720p」に設定してあると、ディスク/ファイルのコンテンツがフレーム（コマ）単位で処理されたもの（映画ソース）でも、フィールド単位で処理されたもの（ビデオソース）でも、最良の画質を得ることができます。
通常は「AUTO」モードに設定してください。

- **AUTO**
  ビデオソースと映画ソースの両方映像が記録されているディスク/ファイルを再生するときの設定です。
  本機は、ディスク/ファイル情報に基づいて、再生ソースがビデオか映画かを認識します。
  再生映像が不鮮明でノイズが目立ったり、斜めの線がラフな感じに見える場合は別のモードに設定してください。
- **FILM**
  映画ソースの再生に適したモードです。
- **VIDEO**
  ビデオソースの再生に適したモードです。

■ SCREEN SAVER（スクリーンセーバー）（16ページ参照）
スクリーンセーバー機能をオン/オフします。

■ FILE TYPE （ファイル種類）
一枚のディスクに複数の種類のファイルが記録されてある場合、再生するファイルに合わせて設定することができます。

- **AUDIO**
  MP3/WMA/WAVファイルの再生
- **STILL PICTURE**
  JPEGファイルの再生
- **VIDEO**
  ASF/MPEG-2/MPEG-1/DivXファイルの再生

■ HDMI DVI COLOR
テレビをHDMIケーブルで接続している場合、画質、色の強度、ブラックフェードなどの映像の感じを調整することができます。

- **STANDARD**
  映像の調整をする必要のないときはこれに設定してください。
- **ENHANCE**
  自動的に映像の質感を調整します。

■ HDMI OUT
テレビをHDMIケーブルで接続している場合、HDMI端子から出力される映像信号の種類を選択することができます。

- **AUTO**
  HDMI接続してあるテレビの種類に応じて自動的に映像信号の種類を選択します。
- **RGB**
  「AUTO」設定ではテレビに映像が表示されない場合には「RGB」に設定してください。映像出力はRGBに固定されます。

：AUDIOメニュー

■ DIGITAL AUDIO OUTPUT
本機のデジタル出力をデジタル入力端子を備えた外部機器に接続した場合は、この項目を正しく設定する必要があります。
ここでの設定と出力信号との詳細な関係については次ページの表を参照してください。

- **PCM ONLY**
  本機のDIGITAL OUT (OPTICAL)端子をほかのオーディオ機器のリニアPCMデジタル入力端子に接続している場合はこの「PCM ONLY」に設定してください。（11ページ参照）
- **DOLBY DIGITAL/PCM**
  Dolby Digitalデコーダーのデジタル入力あるいはDolby Digitalデコーダー内蔵のアンプへ接続した場合はこの「DOLBY DIGITAL/PCM 」に設定してください。
- **STREAM/PCM**
  DTSデコーダー、Dolby Digitalデコーダー、MPEGマルチチャンネルデコーダーなどを内蔵したアンプのデジタル入力に接続している場合はこの「STREAM/PCM」こ設定してください。（11ページ参照）

デジタル出力信号表

再生ディスク	デジタル音声出力		
	PCM ONLY	DOLBY DIGITAL/PCM	STREAM/PCM
DVD with 48/44.1 kHz, 16/20/24 bit linear PCM	48/44.1 kHz, 16 bit, stereo linear PCM		
DVD with 96/88.2 kHz, 16/22/24 bit linear PCM	No output		
DVD with DTS	48 kHz, 16 bit, stereo linear PCM		DTS bitstream
DVD with Dolby Digital/DVD AUDIO	48 kHz, 16 bit, stereo linear PCM	Dolby Digital bitstream	
DVD with MPEG Multichannel	48 kHz, 16 bit, stereo linear PCM		MPEG bitstream
Audio CD/Video CD/SVCD	44.1 kHz, 16 bit, stereo linear PCM		
Audio CD with DTS	44.1 kHz, 16 bit, stereo linear PCM		DTS bitstream
CD-R/RW with MP3	Linear PCM		

■ DOWN MIX

サラウンドマルチチャンネルで記録されたDVD VIDEOを正しく再生するには、ご使用のオーディオシステムに合わせてこの項目を正しく設定する必要があります。

- **DOLBY SURROUND**
  本機のアナログAUDIO OUTをサラウンドデコーダーに接続してサラウンドマルチチャンネルサウンドを楽しむ場合はこのDOLBY SURROUNDに設定してください。
- **STEREO**
  本機のアナログAUDIO OUTをステレオアンプ/レシーバーやテレビに接続して2チャンネルステレオサウンドを楽しむ場合はこのSTEREOに設定してください。サラウンド音声が記録されてあるDVD VIDEOの音声をMDやカセットなどに録音するときもSTEREOに設定してください。

■ D.RANGE COMPRESSION

Dolby Digital形式で低音量あるいは中音量記録されたDVD VIDEOを視聴する場合、この項目を「ON」に設定すると音が聴き取りやすくなります。

- **AUTO**
  Dolby Digital 1あるいは2で録音したディスクを再生するとき以外はダイナミックレンジを圧縮して音声を出力します。
- **ON**
  ダイナミックレンジを圧縮して音声を出力します。

■ HDMI AUDIO OUT

映像信号と共に音声信号をHDMI端子から出力するか否かを選択することができます。

：OTHER（その他のメニュー）

■ RESUME

リジューム再生機能をオン/オフします。（23ページ参照）

■ ON SCREEN GUIDE

オンスクリーンアイコンをオン/オフします。（15ページ参照）

■ DivX REGISTRATION（DivX登録）

本製品の1台1台にはDivX再生に必要なDivX登録コードが設定されています。お手持ちの本機の登録コードを確認することができます。

- 登録コードを使って作成されたディスクを一度再生すると、著作権保護目的のために、本機に設定されたコードに全く別のコードが上書きされます。

ご注意

ティアック株式会社（以下、弊社といいます）は、本章 RS-232 Cインターフェイスに記載するプロトコル仕様情報（以下、本情報といいます）につきまして、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けることを前提として、ご使用を許諾申し上げます。

以下のプロトコル使用約款の条件にご同意頂けない場合は、本情報及び本プロトコルをご使用になることはできません。また、お客様が以下のプロトコル使用約款の条件に違反されますと、弊社の権利を侵害することになり、以降のご使用の停止、また、損害賠償等の請求対象となりますことをご承知おき下さい。

プロトコル使用約款

1.本使用約款は、お客様が本情報のご使用を開始したときから適用されます。

2.弊社は、本情報について、RS-232Cポートを経由して本機と制御情報を通信する装置（ソフトウェアを含む）を開発するために「使用」する非独占的、譲渡不能の権利をお客様に許諾します。

3.本情報の提供は、本使用約款に規定された以外に本情報及び本プロトコルに係るいかなる権利、権原若しくは利権の取得を意味するものではありません。お客様は、本情報が弊社に帰属する著作物として、「万国著作権条約」または「文学的および美術的著作物保護に関するベルヌ条約」の加盟国の著作権法に基づき保護されることをご認識下さい。本情報に係る著作権その他一切の知的財産権は、弊社若しくは弊社への供給元に帰属しております。

4.弊社は、本情報および本プロトコルの内容について、充分に確認しておりますが、お客様の特定の使用目的に適合すること、或いは、一切誤りがないことを保証するものではありません。

5.本情報は、お客様の知識と技術に基づき、ご使用頂くことを前提として提供させて頂くものです。弊社は、本情報の内容または本プロトコルについて、お客様の個別のお問い合わせに対応致しかねることがあります。

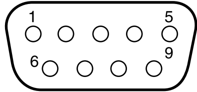
6.弊社は、本情報および本プロトコルの使用や使用不能から生じたいかなる損害（事業上の損失、営業の中断、営業上の情報の損失、その他の金銭上の損害など）についても責任を負いません。例え、その損害の可能性が弊社に事前に知らされていたとしても同様です。

以上

本機にはコマンド受信とステータス情報送信可能なRS-232C ポートが搭載されています。受信可能なコマンドは、トランスポート機能、メニュー機能、電源スタンドバイ/オンのすべてをカバーしています。
リターンステータスにはタイマー表示、ディスク形式、トランスポートステータスなどが含まれます。本機のフロントパネルボタンあるいはIR ボタンをオン/オフする補足的コマンドの利用も可能です。

仕様

■ 9-pin D-Sub（オスコネクター）



通信方式：　非同期
データレート：　9600 bps
コマンド間隔：　>25 ms（ 注意：連続してコマンドを発行する場合、前のコマンドに対するDV-D01Uからの応答を受信してから25ms以上の間隔を空け次のコマンドを送信して下さい。）
文字長：　8 bits
パリティビット：　無し
ストップビット：　1 bit
転送ビット：　LSBit First

Pin	Signal	Description	Signal flow
2	RxD	Receive data	DVD player ← External device
3	TxD	Transmit data	DVD player → External device
5	GND	Signal grounding	

コマンド

■ コマンド構成
例：PLAY コマンド

プリアンブル		命令コード			コマンド/ステータス	パラメータコード								チェックサム		エンドバイト
Byte		1st	2nd	3rd	4th	5th	6th	7th	8th	9th	10th	11th	12th			
☻	>	P	L	Y	c	F	W	D	SP	SP	SP	SP	SP	1	7	♥
02h	3Eh	50h	4Ch	59h	63h	46h	57h	44h	20h	20h	20h	20h	20h	31h	37h	03h

チェックサム範囲（3Eh～12th byte）

プリアンブル
本機におけるコマンド列はすべてスタートバイト「02h」とヘッダーバイト「3Eh」で始まります。

命令コード
各コマンドには、次ページにリストアップしてあるような３バイトの命令コードが組み込まれています。
再生を命じるコードは「PLY」（大文字）です。

コマンド/ステータスバイト
この部分は、コマンドが本機に何かをせよと命じているのか、あるいはステータスを問い合わせているのかを決定します。小文字の「c」（63h）はコマンドを、小文字の「s」（73h）はステータスを示しています。

パラメータコード
コマンド/ステータス要求に関するパラメータ用に８バイトが確保されています。ステータス情報が８バイトに満たない場合（ほとんどがこのケース）は、余ったスロットにスペース（20h）が挿入されます。上記の例のFWDはノーマルスピード（1x）での順方向再生を表しています。

チェックサム
チェックサムはプリアンブルの「>」からパラメータコードの最後までの情報から算出されます。16進数加算の最後の2桁はチェックサム領域にASCIIとして表示されます。この例では、チェックサムは以下のように導かれます。

3E + 50 + 4C + 59 + 63 + 46 + 57 + 44 + 20 + 20 + 20 + 20 + 20 = 317

最後の２桁「17」がチェックサム領域にASCIIとして表示されることになります。

エンドバイト
列の最後を「03h」で示します。

■ コマンド概要

トランスポート機能（35ページ参照）

命令コード（最初の3バイト）			意味
第1	第2	第3	
P	L	Y	再生/ポーズ/スロー/スキャンコマンド
S	T	P	ディスク停止コマンド
S	K	P	チャプター/トラックスキップコマンド
M	E	D	トレー開閉コマンド
P	O	W	電源オン/オフコマンド

メニューナビゲーション（36ページ参照）

命令コード（最初の3バイト）			意味
第1	第2	第3	
M	N	U	メニュー呼び出しコマンド
N	A	V	メニューナビゲーション（カーソル、ENTERなど）コマンド
R	C	U	リモート制御

ステータス情報（38ページ参照）

命令コード（最初の3バイト）			意味
第1	第2	第3	
M	O	D	DVDプレイヤーステータス所得
D	S	C	ディスク形式情報所得
S	P	D	再生スピード（ビデオディスク）所得
I	N	F	カウンター情報（再生経過時間など）所得

上級操作（40ページ参照）

命令コード（最初の3バイト）			意味
第1	第2	第3	
P	S	W	フロントパネルコントロールオン/オフ
I	R	D	赤外線コントロールオン/オフ
S	E	T	デフォルト設定実施
I	N	I	DVDプレーヤーの初期化

トランスポートコマンド

これらのコマンドは単純に付属のリモコンと同じ機能を果たします。

ご注意

- 本機がポーズ中にポーズコマンドが送られると、本機は１コマぶん前へ進みます。数個のポーズコマンドが間を置かずに連続して発信されると、本機はスロー再生モードに入ります。（このダブル機能はビデオディスクに対してのみ機能します。）

再生	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	L 4Ch	Y 59h	c 63h	F 46h	W 57h	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	7 37h	♥ 03h
停止	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	T 54h	P 50h	c 63h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	9 39h	8 38h	♥ 03h
一時停止 - ポーズにポーズをかけるとコマ進み、素早い連続送信はスロー再生	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	L 4Ch	Y 59h	c 63h	P 50h	A 41h	U 55h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	C 43h	♥ 03h
早送り	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	L 4Ch	Y 59h	c 63h	F 46h	F 46h	W 57h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	9 39h	♥ 03h
巻き戻し	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	L 4Ch	Y 59h	c 63h	F 46h	B 42h	W 57h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	5 35h	♥ 03h
再生中のトラック/チャプターの頭へリターン	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	S 53h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	C 43h	2 32h	♥ 03h
再生中のタイトル（DVD）の第１チャプターへリターン 第１トラック（オーディオCD、ビデオCD)へリターン	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	C 43h	3 33h	♥ 03h
次のトラック/チャプター	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	B 42h	D 44h	♥ 03h
前のトラック/チャプター	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	P 50h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	B 42h	F 46h	♥ 03h
スローモーション	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	L 4Ch	Y 59h	c 63h	S 53h	L 4Ch	W 57h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	2 32h	C 43h	♥ 03h

■ 特定のトラック/チャプター番号への移動

このコマンドはパラメータコードのトラック/チャプター番号の前の大文字「G」を使います。

							TRACK/CHAPTER #								CHECK SUM		
トラック/チャプターへ移動 （例：トラック/チャプター12へ移動）	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	G 47h	0 30h	1 31h	2 32h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	E 45h	9 39h	♥ 03h

DVD に収められた特定のチャプターへ移動するには、第６～第８バイトを特定のチャプター番号にセットします。オーディオ CD とビデオ CD の場合は、第６バイトは「0」にセットし、第７バイトと第８バイトを特定のトラック番号にセットします。
その後チェックサムの算出とセットを行います。

■ 特定のタイトル番号へ移動

複数のタイトルが収録されている DVD の場合、このコマンドを使ってダイレクトに個々のタイトルを頭出しすることができます。このコマンドは特定のトラックあるいはチャプターの頭出しのコマンドと構造的には似ています。違うのはパラメータコードの中で使われるのは小文字の「g」（67h）だという点です。

							TITLE #										
タイトルへ移動 （例：タイトル３へ移動）	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	K 4Bh	P 50h	c 63h	g 67h	0 30h	0 30h	3 33h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	9 39h	♥ 03h

DVD に収められた特定のタイトルへ移動するには、第６バイトは「0」にセットし、第７バイトと第８バイトを特定のタイトル番号にセットします。その後チェックサムの算出とセットを行います。

■ ディスクトレー開閉

このコマンドはディスクトレーを開閉します。このコマンドを発信する前にトレーが開いているのか閉じているのかを知るには「MOD」ステータス要求を用います。

															CHECK SUM		
ディスクトレー開閉	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	E 45h	D 44h	c 63h	E 45h	J 4Ah	C 43h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	E 45h	9 39h	♥ 03h
ディスクトレーを開ける	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	E 45h	D 44h	c 63h	O 4Fh	P 50h	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	4 34h	♥ 03h
ディスクトレーを閉じる	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	E 45h	D 44h	c 63h	C 43h	L 4Ch	S 53h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	F 46h	9 39h	♥ 03h

■ 電源オン/スタンドバイ

電源オンとスタンドバイにはそれぞれ個別のコマンドを使います。電源がオフのとき、本機は「MOD」要求に応答します。

電源オン	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	O 4Fh	W 57h	c 63h	O 4Fh	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	F 46h	4 34h	♥ 03h
スタンドバイ	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	O 4Fh	W 57h	c 63h	O 4Fh	F 46h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	E 45h	C 43h	♥ 03h

メニューナビゲーションコマンド

■ メニュー呼び出し

MENU コマンドはDVD 上の「タイトル」メニューか「ルート」メニューのいずれかを呼び出します。DVD によってはこのコマンドは機能しないことがあります。

タイトルメニュー	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	N 4Eh	U 55h	c 63h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	C 43h	5 35h	♥ 03h
ルートメニュー	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	N 4Eh	U 55h	c 63h	R 52h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	C 43h	3 33h	♥ 03h

■ メニューナビゲーションキー

これらは標準ナビゲーションキーで、機能的にはリモコンのナビゲーションキーと同じです。

左カーソル	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	L 4Ch	F 46h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	C 43h	♥ 03h
右カーソル	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	R 52h	I 49h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	5 35h	♥ 03h
上カーソル	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	U 55h	P 50h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	E 45h	B 42h	♥ 03h
下カーソル	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	D 44h	W 57h	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	F 46h	♥ 03h
エンター/セレクト	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	E 45h	N 4Eh	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	D 44h	♥ 03h
リターン	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	R 52h	T 54h	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	A 41h	♥ 03h
プレビアス	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	P 50h	R 52h	E 45h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	D 44h	♥ 03h
ネクスト	☻ 02h	> 3Eh	N 4Eh	A 41h	V 56h	c 63h	N 4Eh	X 58h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	2 32h	0 30h	♥ 03h

■ リモコンキー

これらのキーコマンドは機能的にはリモコン上のキーと同じです。

タイトル/グループ	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	T 54h	T 54h	L 4Ch	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	F 46h	♥ 03h
ディスプレイ	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	D 44h	S 53h	P 50h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	2 32h	♥ 03h
リピート	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	R 52h	P 50h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	2 32h	1 31h	♥ 03h
字幕	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	S 53h	U 55h	B 42h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	5 35h	♥ 03h
オーディオ/Fsレート	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	A 41h	U 55h	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	5 35h	♥ 03h
FVPP	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	V 56h	F 46h	P 50h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	7 37h	♥ 03h
カメラアングル	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	A 41h	N 4Eh	G 47h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	1 31h	♥ 03h
ズーム	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	Z 5Ah	O 4Fh	M 4Dh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	2 32h	1 31h	♥ 03h
インスタント再生	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	I 49h	P 50h	L 4Ch	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	0 30h	♥ 03h
ディマー	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	D 44h	I 49h	M 4Dh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	5 35h	♥ 03h
キャンセル	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	C 43h	A 41h	N 4Eh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	F 46h	D 44h	♥ 03h
ページ	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	P 50h	A 41h	G 47h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	3 33h	♥ 03h
再生モード	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	P 50h	M 4Dh	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	0 30h	C 43h	♥ 03h
オンスクリーン	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	O 4Fh	S 53h	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	1 31h	♥ 03h
セットアップ	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	S 53h	E 45h	T 54h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	7 37h	♥ 03h
プログラムスキャン	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	P 50h	R 52h	O 4Fh	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	1 31h	C 43h	♥ 03h
数字キー*1 （例：数字9の入力）	☻ 02h	> 3Eh	R 52h	C 43h	U 55h	c 63h	N 4Eh	U 55h	M 4Dh	0 30h	0 30h	9 39h	SP 20h	SP 20h	5 35h	4 34h	♥ 03h

*1　数字キーコマンドで送信可能な数字は「0」から「010」までです。第８バイトを「0」にセットし、第９バイトと第 10バイトに送信したい数字をセットします。その後チェックサムを算出してセットします。

ステータス情報所得コマンド

■「MOD」ステータス要求

本機の状態（電源オン/オフ）、トレーの状態、ディスクの種類などの情報を所得するためのコマンドです。

ステータス情報所得コマンド	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	O 4Fh	D 44h	c 63h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	8 38h	1 31h	♥ 03h

■ MOD 要求への返答

「MOD」要求への応答は、ふたつの主なパラメータバイトを含み、トランスポートステータスとディスク形式を表します。利用可能なコードについては下の表を参照してください。

							トランスポートステータス	ディスク形式									
ビデオDVD再生中（「MOD」への応答）	☻ 02h	> 3Eh	M 4Dh	O 4Fh	D 44h	s 73h	: 3Ah	4 34h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	B 42h	F 46h	♥ 03h

トランスポートステータス

ASCII	Hex	意味
SP	20h	Power off
1	31h	No disc in tray
2	32h	Tray open
3	33h	Tray opening
4	34h	Tray closing
5	35h	Reading disc
6	36h	DVD menus
7	37h	Stop
9	39h	Search
:	3Ah	Play
;	3Bh	Pause
<	3Ch	Still playback
=	3Dh	Scan
>	3Eh	Slow motion playback

ディスク形式

ASCII	Hex	意味
0	30h	No disc
1	31h	Unknown format
3	33h	DVD Audio
4	34h	DVD Video
5	35h	Super Video CD
6	36h	Video CD
7	37h	Audio CD
9	39h	MP3/JPEG disc
A	41h	DVD VR disc

■「DSC」ステータス要求

「DSC」要求に対しては単にディスクの種類を返すだけです。ディスク種類情報は「MOD」要求でも得られます。

DSCステータス要求	☻	>	D	S	C	c	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	7	B	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	63h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	37h	42h	03h

■「DSC」要求への返答

ビデオDVD（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	V	i	d	SP	SP	SP	SP	SP	4	E	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	56h	69h	64h	20h	20h	20h	20h	20h	34h	45h	03h
オーディオDVD（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	A	u	d	SP	SP	SP	SP	SP	4	5	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	41h	75h	64h	20h	20h	20h	20h	20h	34h	35h	03h
ビデオCD（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	V	C	D	SP	SP	SP	SP	SP	0	8	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	56h	43h	44h	20h	20h	20h	20h	20h	30h	38h	03h
オーディオCD（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	C	D	A	SP	SP	SP	SP	SP	F	3	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	43h	44h	41h	20h	20h	20h	20h	20h	46h	33h	03h
スーパービデオCD（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	S	V	C	SP	SP	SP	SP	SP	1	7	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	53h	56h	43h	20h	20h	20h	20h	20h	31h	37h	03h
MP3/JPEG（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	F	I	L	SP	SP	SP	SP	SP	0	6	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	46h	49h	4Ch	20h	20h	20h	20h	20h	30h	36h	03h
無し（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	U	N	K	SP	SP	SP	SP	SP	1	9	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	55h	4Eh	4Bh	20h	20h	20h	20h	20h	31h	39h	03h
不明（DSC要求への応答）	☻	>	D	S	C	s	N	O	N	SP	SP	SP	SP	SP	1	6	♥
	02h	3Eh	44h	53h	43h	73h	4Eh	4Fh	4Eh	20h	20h	20h	20h	20h	31h	36h	03h

■「SPD」ステータス要求

SPD 要求に対して本機は再生スピードを返します。本機のステータス（ポーズ、プレイ、ストップ）情報の取得も行います。

SPDステータス要求	☻	>	S	P	D	c	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	8	8	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	63h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	38h	38h	03h

■ SPDステータス要求

ストップステータス（SPDへの応答）	☻	>	S	P	D	s	S	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	B	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	73h	53h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	42h	03h
ポーズステータス	☻	>	S	P	D	s	P	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	8	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	73h	50h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	38h	03h
プレイ（1×ノーマルスピード）ステータス	☻	>	S	P	D	s	N	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	6	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	73h	4Eh	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	36h	03h
フォワードステータス	☻	>	S	P	D	s	F	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	B	E	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	73h	46h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	42h	45h	03h
バックワードステータス	☻	>	S	P	D	s	B	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	B	A	♥
	02h	3Eh	53h	50h	44h	73h	42h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	42h	41h	03h

■「INF」ステータス要求と返答

INF コマンドはディスク上の多種類の情報を要求します。CD と DVD では動作が異なるためコマンドも返答も異なります。

オーディオ CD とビデオ CD の場合のコマンド構成

CD のステータス情報を示すパラメータの第１バイト（コマンド/ステータスバイトの「c」あるいは「s」の次のバイト）は小文字です。

ファーストトラックとラストトラック要求	☻	>	I	N	F	c	n	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	C	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	6Eh	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	43h	03h
ファーストトラックとラストトラック返答 （トラック01と23を示しています）	☻	>	I	N	F	s	n	0	1	2	3	SP	SP	SP	2	2	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	6Eh	30h	31h	32h	33h	20h	20h	20h	32h	32h	03h
								First Trk		Last Trk							
ディスク再生総時間要求	☻	>	I	N	F	c	t	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	D	2	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	74h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	44h	32h	03h
ディスク再生総時間返答 （72分48秒13時間を示しています）	☻	>	I	N	F	s	t	7	2	4	8	1	3	SP	5	B	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	74h	37h	32h	34h	38h	31h	33h	20h	35h	42h	03h
								Minutes		Seconds		Frames					
再生中のトラックとインデックス要求	☻	>	I	N	F	c	i	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	7	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	69h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	37h	03h
再生中のトラックとインデックス返答 （トラック23とインデックス01を示しています）	☻	>	I	N	F	s	i	2	3	0	1	SP	SP	SP	1	D	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	69h	32h	33h	30h	31h	20h	20h	20h	31h	44h	03h
								Track		Index							
再生中トラック経過時間要求	☻	>	I	N	F	c	p	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	C	E	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	70h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	43h	45h	03h
再生中トラック経過時間返答 （03分12秒12フレームを示しています）	☻	>	I	N	F	s	p	0	3	1	2	1	3	SP	4	8	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	70h	30h	33h	31h	32h	31h	33h	20h	34h	38h	03h
								Minutes		Seconds		Frames					

ビデオ DVD の場合のコマンド構成

DVD のステータス情報を示すパラメータの第１バイト（コマンド/ステータスバイトの「c」あるいは「s」の次のバイト）は大文字です。

タイトルの総数要求	☻	>	I	N	F	c	L	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	A	A	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	4Ch	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	41h	41h	03h
タイトルの総数返答 （2タイトルを示しています）	☻	>	I	N	F	s	L	0	2	SP	SP	SP	SP	SP	D	C	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	4Ch	30h	32h	20h	20h	20h	20h	20h	44h	43h	03h
								# of Titles									
再生中タイトル経過時間要求	☻	>	I	N	F	c	M	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	A	B	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	4Dh	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	41h	42h	03h
再生中タイトル経過時間返答 （1時間15分23秒を示しています）	☻	>	I	N	F	s	M	1	1	5	2	3	SP	SP	1	7	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	4Dh	31h	31h	35h	32h	33h	20h	20h	31h	37h	03h
								HR	MIN		SEC						
再生中のタイトル＆チャプター要求	☻	>	I	N	F	c	H	SP	SP	SP	SP	SP	SP	SP	A	6	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	63h	48h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	20h	41h	36h	03h
再生中のタイトル＆チャプター返答 （タイトル1とチャプター23を示しています）	☻	>	I	N	F	s	H	0	1	SP	2	3	SP	SP	0	C	♥
	02h	3Eh	49h	4Eh	46h	73h	48h	30h	31h	20h	32h	33h	20h	20h	30h	43h	03h
								Title		Chapter							

■ フロントパネルと IR 許可

本機では PSW コマンドと IRD コマンドを使ってフロントパネルあるいはリモコンのつまみ類を無効にしてオートインスタレーションを行います。電源コードを外すか同じコマンドを使って再びつまみ類を有効にするまでオートインスタレーションの設定が機能し続けます。INI コマンドを使ってデフォルト設定に戻すこともできます。

フロントパネルコントロールを無効にする	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	S 53h	W 57h	c 63h	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	B 42h	F 46h	♥ 03h
フロントパネルコントロールを有効にする	☻ 02h	> 3Eh	P 50h	S 53h	W 57h	c 63h	A 41h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	B 42h	C 43h	♥ 03h
IRリモコンを無効にする	☻ 02h	> 3Eh	I 49h	R 52h	D 44h	c 63h	D 44h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	A 41h	4 34h	♥ 03h
IRリモコンを有効にする	☻ 02h	> 3Eh	I 49h	R 52h	D 44h	c 63h	A 41h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	A 41h	1 31h	♥ 03h

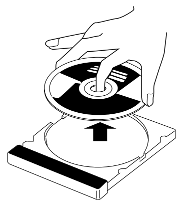
■ 本機の初期化

本機の初期設定とその呼び出しは SET コマンドと INI コマンドで行います。SET コマンドが使えるのは本機に電源を入れた直後に限られます。INI コマンドは本機を初期化し、SET コマンドによって最後にセットされた設定へ戻します。RS-232 ルーティーンが初期化されている間は、少なくとも 500 ms 間は、ほかのコマンドを送付してはいけません。

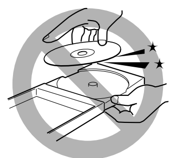
デフォルト設定キャプチャ	☻ 02h	> 3Eh	S 53h	E 45h	T 54h	c 63h	0 30h	0 30h	8 38h	e 65h	SP 20h	SP 20h	0 30h	8 38h	8 38h	D 44h	♥ 03h
RS-232Cコントロール初期化	☻ 02h	> 3Eh	I 49h	N 4Eh	I 49h	c 63h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	SP 20h	8 38h	1 31h	♥ 03h

メンテナンス

■ ディスクの取り扱い



- ディスクをケースから取り出すときは、両端を軽くつかんでセンターホールに指を添えます。
- ディスクの光っている面に指で触ったり、ディスクを曲げたりしてはいけません。
- 使用後はケースに戻して保管してください。



- ケースに戻すとき、ディスク表面に傷をつけないように注意してください。
- 直射日光や高温、湿気などにさらすことは避けてください。

ディスクのクリーニング



やわらかい布で中央から外向きに拭いてください。

- **溶剤の使用は不可！**
  一般的なレコードクリーナー、スプレー、シンナーなどをディスクのクリーニングに使ってはいけません。

■ 本機のクリーニング

- 本機の表面に付いたよごれはやわらかい布で拭き取ってください。しつこいよごれは、水で薄めた中性洗剤を含ませた布をかたく絞って拭き取ったあと、別の布で乾拭きします。
- 品質劣化、故障、塗料剥脱などを避けるための禁止事項
  - 荒い布で拭かないこと
  - 乱暴に拭かないこと
  - シンナーやベンジンを用いないこと
  - 殺虫剤のような揮発性物質は使用しないこと
  - ゴムあるいはプラスチック物質に長時間接触させないこと

トラブルシューティング

トラブル	考えられる原因	処理
電源が入らない	電源コードが接続されていない	電源コードを正しく接続する（11ページ参照）
リモコンが機能しない	電池が切れている	電池を交換する（9ページ参照）
	リモコンセンサーに直射日光があたっている	リモートセンサーに直射日光が当たらないようにする
ディスクの読み取り時間が長すぎる	ディスクが汚れている	前ページの「メインテナンス」を参照してディスクのクリーニングを行う
音が出ない	音声ケーブルが接続されていない	接続をチェックする
高サンプリング周波数（88.2 kHz以上）リニアPCM方式で音声を記録したDVDの再生時、DIGITAL OUT (OPTICAL)端子から音が取れない	本機のDIGITAL OUT (OPTICAL)端子からは音声信号は出力されません	このようなDVDディスクを再生するときはアナログのAUDIO OUT端子を使う
テレビ画面に映像が出ない	映像ケーブルが正しく接続されていない	ケーブルを正しく接続する（10ページ参照）
	再生不可のディスクあるいはファイルである	利用可能なディスクあるいはファイルを使う（6～7ページ参照）
テレビ画面に映像が出ない、映像が不鮮明、あるいは映像が二つに分かれる	プログレッシブ映像入力をサポートしていない一般的なテレビに接続していながらスキャンモードが「480p」に設定されている	スキャンモードを「480i」に設定する（13ページ参照）
映像も音声も歪む	ディスクに傷がついているか汚れている	別のディスクを使うか使用ディスクをクリーニングする
	ビデオデッキが本機とテレビの間に接続されている	本機とテレビを正しく接続する（10ページ参照）
映像がテレビ画面サイズに合っていない	モニタータイプが正しくセットされていない	「MONITOR TYPE」を正しくセットする（30ページ参照）
HDMI接続時、映像がテレビ画面に表示されない、あるいは音声が聞こえない	本機とテレビの両方またはいずれか一方が再生映像あるいは音声の形式に対応していない	映像あるいは音声信号の形式が本機とテレビが対応しているものなのかどうかをチェック
	HDCP対応テレビが接続されていない	HDCP対応のテレビを接続する（10ページ参照）
	HDMIケーブルで接続されているテレビを認識できない	HDMIケーブルを一度外してから接続し直す
	5メートル以上の長いHDMIケーブルが使われている	安定した動作と映像品質を得るには5メートル以下のHDMIケーブルを使用する
テレビをHDMI端子に接続すると映像が歪む	テレビをHDMI端子に接続してある場合、ディスク/ファイルによっては映像が正しい比率で表示されないことがある	コンポーネント端子、S-ビデオ端子、あるいはコンポジットビデオ端子を通してテレビを接続（10ページ参照）してから、スキャンモードを「480p」にセットする（13ページ参照）

上記以外の原因によるトラブルあるいは上記の処置では解決しないトラブルの場合は、電源を一度切ってから再び電源を入れ直してみてください。

仕様

一般

電源：　AC 100 V、50／60 Hz
消費電力：　11 W（動作時）
0.2 W（スタンドバイモード時）
寸法（幅 x 高さ x 奥行き）：　482 mm x 51 mm x 269 mm
重量：　2.6 kg

オーディオ部

アナログ出力
　AUDIO OUT：　－8 dB/1 kΩ
デジタル出力*1
　DIGITAL OUT (OPTICAL)：　－21 dBm～－15dBm
(600 nm ± 30 nm)

*1 リニアPCM、Dolby Digital、DTS Digital Surround（サンプリング周波数32 kHz、44.1 kHz、48 kHz）に対応

ビデオ部

ビデオ方式：　NTSC
水平解像度：　500本
S/N比：　64 dB
ビデオ出力レベル
　コンポジット：　1.0 V (p-p)/75 Ω
　S-ビデオ-Y：　1.0 V (p-p)/75 Ω
　S-ビデオ-C：　0.286 V (p-p)/75 Ω
　コンポーネント-Y：　1.0 V (p-p)/75 Ω
　コンポーネント-PB/PR：　0.7 V (p-p)/75 Ω

HDMI

HDMI出力（Ver.1.0）：　HDMI

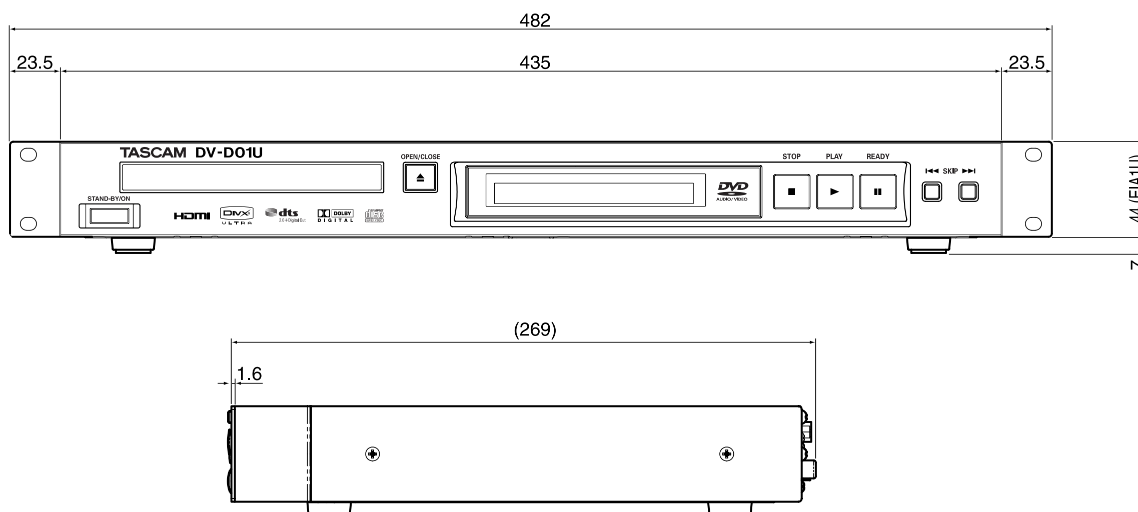
RS-232C

シリアルコマンド：　9ピンD-SUB

設計と仕様は予告なく変更する場合があります。

＊HDMI、HDMIロゴ、及びHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing LLCの登録商標です。
＊HDCPは「High Bandwidth Digital Content Protection」の略で、Digital Content Protection, LLC社がライセンスを有する高信頼著作権保護技術です。

寸法図（単位：mm）



この製品の取り扱いなどに関するお問い合わせは

タスカムカスタマーサポートまでご連絡ください。お問い合わせ受付時間は、
土・日・祝日・弊社休業日を除く10:00～12:00／13:00～17:00です。

タスカム カスタマーサポート 〒206-8530 東京都多摩市落合1-47


® **0120-152-854**

携帯電話・ PHS ・ IP電話などからはフリーダイヤルをご利用いただけませんので、
通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：042-356-9137／FAX：042-356-9185

故障・修理や保守についてのお問い合わせは

修理センターまでご連絡ください。
お問い合わせ受付時間は、土・日・祝日・弊社休業日を除く9:30～17:00です。

ティアック修理センター 〒358-0026 埼玉県入間市小谷田585



一般電話・公衆電話からは市内通話料金でご利用いただけます。

0570-000-501

ナビダイヤルは全国どこからお掛けになっても市内通話料金でご利用いただけます。
PHS ・ IP電話などからはナビダイヤルをご利用いただけませんので、通常の電話番号（下記）にお掛けください。
新電電各社をご利用の場合、「0570」がナビダイヤルとして正しく認識されず、「現在、この電話番号は使われておりません」などのメッセージが流れることがあります。このような場合は、ご契約の新電電各社へお問い合わせいただくか、通常の電話番号（下記）にお掛けください。

電話：04-2901-1033／FAX：04-2901-1036

■ 住所や電話番号は，予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

ティアック株式会社

〒206-8530 東京都多摩市落合1-47
http://www.tascam.jp/

Printed in Malaysia
0207MNH-SW-0T